

ANNUAL REPORT 2022



ケアを考え “くらし”を良くし 福祉を変える

ケアの真価は、「これが本当にその人の最善なのかどうか」を問い続け、考えることです。そうした思考をベースとしながら、ケアを実践し、昨日よりも今日の、今日よりも明日の“くらし”を良くしていかなければなりません。目の前の人に向き合い、小さな実践でも、一層、一層、積み重ねていくことを大切にします。そして、実践から見てきたものを発信し、提言し、議論する姿勢をもち、つねに福祉のあり方を問いなおします。

当事者への思い

いつまでも自分らしく安心して生活したい。そんな思いに私たちは「ケア」を通して応えています。

- 当事者の最善の利益を追求します。
- 持てる力、健康な力を活用し高めるケアを実践します。
- 生活の視点で当事者を見つめ、社会でのつながりを大切にします。

社会への思い

私たちは、社会のなかで真価のある存在を目指します。そのため、地域と協働し、自然環境とともに歩む姿勢を忘れません。

- 社会福祉法人として公益的な事業をすすんで行います。
- 情報を公開し、透明性の高い経営を実践します。
- 嘘をつかず正義を希求し勇気をもって行動します。

職員への思い

よりよい福祉実践のためには、職員が安心して働ける環境と、成長できる機会が大切です。長期的な視点をもって人材育成に取り組みます。

- 広く社会で活躍できる人材を育成します。
- 職員の能力を活かし、「楽しい」ことを大切にします。
- 多様性を受け入れ、安心して働ける環境を整えます。



CONTENTS

04 2021年度事業報告

- 04 トップメッセージ
- 05 役員体制
- 06 コーポレート・ガバナンス
- 07 トピックス
- 09 外部から見た福祉楽団
- 10 財務情報
- 16 基礎データ
- 19 そのほかの報告事項

22 2022年度事業計画

- 23 中期経営計画
- 24 事業方針
- 26 事業計画
- 29 資金収支計算書

30 福祉楽団について

- 30 施設概要
- 31 組織図
- 32 沿革
- 33 法人概要

34 ご寄付のお願い

民主的な社会に暮らす方法を学びたいのならば、
オーケストラで演奏するのがよいだろう。
オーケストラで演奏すれば、自分が先導するときと
追従する 때가わかるようになるからだ。
他の人たちのために場所を残しながら、
同時にまた自分自身の場所を主張することは
いっこうにかまわない。

A.グゼリミアン編「バレンボイム／サイド 音楽と社会」(中野真紀子訳) から

社会福祉法人福祉楽団
アニュアルレポート 2022

発行日 2022年7月1日 発行人 飯田大輔

社会福祉法人福祉楽団
〒261-7112 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1

TEL 043-307-2828 E-Mail info@gakudan.org
FAX 043-307-4848 HP https://gakudan.org/



変化する事業環境への大胆な行動と新しい挑戦

ロシアが戦争を仕掛けたことで、国際情勢は一気に不安定になりました。目を覆いたくなるような衝撃的な映像に暗たんとしています。穀物やガスの価格は高騰し、物価高が続いています。また、コロナが落ち着いて経済が回り出せば、福祉業界の人材確保はさらに厳しくなることも予想されています。

こうした不安定な事業環境のなかにあっても、私たちは、安定した経営を行い、より良い福祉実践を展開していかなければなりません。いままでの経験にとらわれず、大胆に行動していくことも必要になります。緊張感をもって経営にあたる覚悟です。

新型コロナウイルス感染症への対応については、引き続き、ご利用者、ご家族の多大なご協力をいただいております。また、協力医療機関のご支援のもとで3回のワクチン接種が無事に実施できました。ご協力いただいたみなさまに心から感謝申し上げます。

当法人は、2021年9月に児童養護施設の整備事業者に選定されました。子どもの社会的養護は未経験の分野ですが、諸先輩からの学びとともに、現代社会を見つめなおし、子どもの視点と、新しい挑戦心を持って2024年春の開設を目指して取り組んでまいります。

地域で暮らす人、福祉を必要としている人に向き合い、最前線で働く人を全力で支えます。私たちはひとりひとりの暮らしを良くする実践を重ねてまいります。

今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2022年7月

理事長 飯田 大輔

役員体制 BOARD MEMBER



飯田 大輔 (44)

理事長

理事会出席回数: 14/14
役員報酬: 有 職制上の給与: 有
兼職 (社外): 社会福祉法人愛川舜寿会 監事、社会福祉法人ゆうゆう 理事、株式会社恋する豚研究所 代表取締役、株式会社香取農業耕社 代表取締役、株式会社生活ラボ 代表取締役
最終学歴: 千葉大学大学院人文社会学研究科公共研究専攻 (博士前期課程)



岩田 直樹 (39)

常務理事/財務担当
兼 コーポレート統括部長

理事会出席回数: 14/14
役員報酬: 有 職制上の給与: 有
兼職 (社外): ケアコロポ株式会社 取締役、一般社団法人福祉の現場 ICT活用協議会 監事
最終学歴: 東京工科大学工学部電子工学科



大枝 真弓 (39)

常務理事/安全・CS担当 (内部監査人)

理事会出席回数: 14/14
役員報酬: 有 職制上の給与: 有
兼職 (社外): 無
最終学歴: 日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科



安部 明子 (46)

理事/安全・CS担当
兼 社の家なりた 事業部長

理事会出席回数: 14/14
役員報酬: 有 職制上の給与: 有
兼職 (社外): 無
最終学歴: 東洋大学短期大学観光学科



石間 太郎 (41)

理事/安全・CS担当
兼 社の家やしお 事業部長

理事会出席回数: 14/14
役員報酬: 有 職制上の給与: 有
兼職 (社外): 無
最終学歴: 関西大学大学院工学研究科 (修士課程)



馬場 拓也 (46)

理事 (社外)

理事会出席回数: 14/14
役員報酬: 有 職制上の給与: 無
兼職 (社外): 社会福祉法人愛川舜寿会 常務理事、社会福祉法人ゆうゆう 監事、ケアコロポ株式会社 取締役、一般社団法人 FUKUSHI FOR CONVIVIALITY 代表理事、一般社団法人日本医療福祉建築協会 理事
最終学歴: 日本社会事業大学専門職大学院福祉マネジメント研究科 (専門職修士)



多田 里奈 (25)

理事 (社内公募)
兼 社の家くりもと 統括ユニットリーダー

理事会出席回数: 14/14
役員報酬: 有 職制上の給与: 有
兼職 (社外): 無
最終学歴: 北海道教育大学函館校 国際地域学科



大原 裕介 (42)

監事 (非常勤)

理事会出席回数: 14/14
役員報酬: 有 職制上の給与: 無
兼職 (社外): 社会福祉法人ゆうゆう 理事長、社会福祉法人愛川舜寿会 理事、北海道医療大学 理事・客員教授、一般社団法人FACE to FUKUSHI 代表理事
最終学歴: 北海道医療大学大学院看護福祉学専攻 (修士課程)



星川 望 (39)

監事 (非常勤)

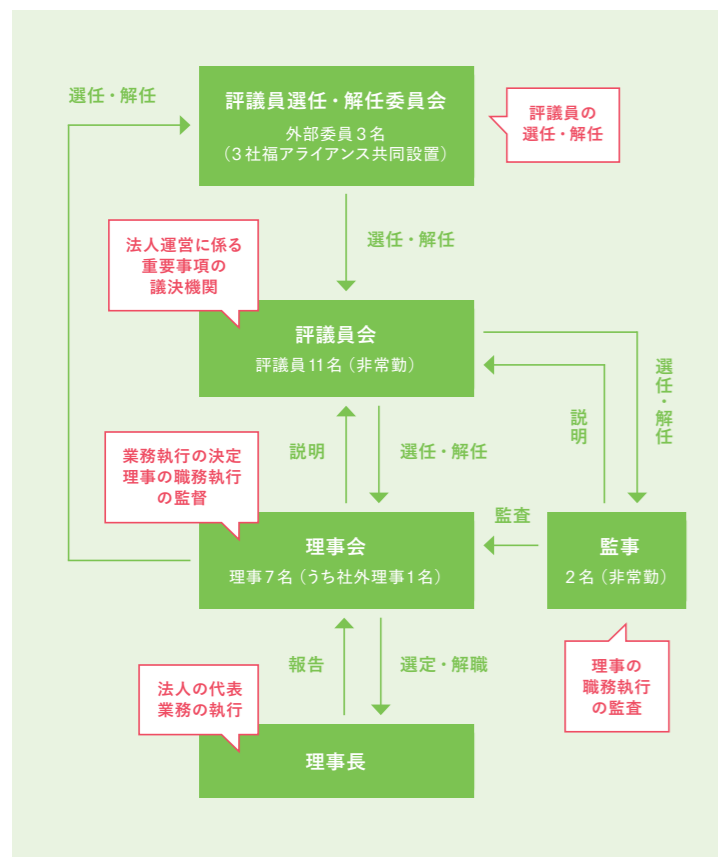
理事会出席回数: 14/14
役員報酬: 有 職制上の給与: 無
兼職 (社外): 税理士、慶應義塾大学法学部 非常勤講師、一般社団法人成長企業研究会 理事、金沢大学大学院法学研究科 教育教員
最終学歴: 慶應義塾大学大学院法学研究科公法学専攻 (修士課程)

1 コーポレート・ガバナンスの基本的な考え

当法人は、持続的な成長と事業活動の社会的価値の向上を重要な価値としております。その実現のためには、ご利用者、取引先、地域社会、職員などと良好な関係を築くとともに、最善の福祉実践をしていくことが重要と考え、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

当法人の理事会は、独立性を確保できる社外理事1名と監事2名により構成されています。監事は、理事会の監督、監視機能の役割を担っています。また、当法人は、社会福祉法人愛川舜寿会（神奈川県）、社会福祉法人ゆうゆう（北海道）と「3社福アライアンス」を締結し、評議員選任・解任委員会の共同設置、役員相互乗り入れ、経営情報の共有を行ってきました。これにより、客観性の高いガバナンス体制の構築のほか、質の高いサービス提供体制の実現を目指しています。

2 コーポレート・ガバナンス体制



■ 評議員選任・解任委員会

評議員選任・解任委員会は、評議員の選任及び解任を審議することを目的に「外部委員が参加する機関」として設置するよう法令により定められています。当法人では、外部委員3名で構成され、独立性を確保しております。2021年度は評議員選任・解任委員会は開催しておりません。

■ 評議員会

評議員会は、「社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者」のうちから選任することと法で定められており、当法人では11名の評議員により構成されています。評議員会は、前年度の事業報告を受けるほか、決算の承認、役員等の選任・解任、定款変更といった重要な事項について審議し、決議するといった、事後的に法人運営を監督する機関として位置付けられています。2021年度は6月の定時評議員会のほか、臨時評議員会1回の合計2回の評議員会を開催しました。

■ 理事会

理事会は、毎月1回のペースで開催し、全ての業務執行の決定や理事の職務執行の監督を行います。その他、必要に応じ臨時理事会を開催し、2021年度は計14回の理事会を開催しました。

3 役員報酬

理事および監事の報酬は、2017年3月23日の評議員会で制定した役員等報酬規程及び、2021年6月12日の定時評議員会の議決に基づき、2021年度は役員報酬等の総額6,137万円（うち役員報酬の総額は2,399万円）を支給しました。

01 介護職員の負担軽減のための機器の導入をすすめています

介護職員の身体的な負担を軽減させるための機器の導入や、業務の効率化を図るためのデジタル環境の整備に取り組みました。「杜の家くりもと」（千葉県香取市）では、新たに入浴介助用のリフトキャリアを導入しました。座面が昇降するので、安全性が高まるだけでなく、入浴する人、介護職員ともに身体的な負担の軽減につながります。また、「杜の家やしお」（埼玉県八潮市）の寝台型の特殊浴槽も最新のものに更新しました。介護記録に欠かせなくなっているスマートフォンは端末の入れ替えを行ったほか、「杜の家くりもと」では、Wi-Fi無線アクセスポイントの更新とエリア拡大を行っています。また、入居者の眠りの状態をセンサーで把握し適切な介護につなげていく「眠りスキャン」などICT機器の導入もすすめました。



リフトキャリアはグループホームで1日2～3名の入居者に使用している。

- リフトキャリアの導入……事業費122万円（うち60万円介護ロボット導入支援補助金）
- 特殊浴槽の更新……事業費753万円（うち150万円労働局人材確保等支援助成金）
- Wi-Fi無線アクセスポイントの整備……事業費275万円（うち121万円介護ロボット導入支援補助金）
- 介護ICT機器等の導入……15万円（うち4万円介護ロボット導入支援補助金）

02 重層的相談支援体制の構築に向けた勉強会を開催し延べ351名が参加しました



勉強会は3回ともリアルとオンラインのハイブリッドで開催した。

福祉楽団では、獨協大学国際教養学部岡村圭子研究室の協力を得て、2021年9月から11月の3回にわたって「重層的支援体制」についての勉強会を開催しました。獨協大学（埼玉県草加市）を会場に福祉事業所、行政機関などから延べ351名が参加しました。「障害」や「高齢」といった対象者別の福祉ではなく、制度の「すき間」を埋めるような活動や、分野横断的な福祉実践が地域で必要となっており、当法人もそうした理念に沿った事業展開をすすめてきています。2020年の社会福祉法改正で「重層的支援体制整備事業」が定められ、各自治体での展開が期待されています。

- 第1回「地域に求められる相談支援体制」（2021年9月24日）講師／朝比奈ミカさん（中核地域生活支援センターがじゅまる センター長）
- 第2回「重層的支援体制整備とはなにか」（2021年10月29日）講師／玉置隼人さん（全国社会福祉協議会 参事）
- 第3回「住民主体の共生型地域づくり」（2021年11月26日）講師／堀田聡子さん（慶應義塾大学大学院 教授）

03 「林福連携」により家具づくりをはじめています

「栗源第一薪炭供給所」（通称1K・千葉県香取市）では、香取市栗源地区の森林所有者とともに2019年の台風による風倒木の撤去や間伐、山林を管理しやすくするための作業道づくりを行っています。2021年度は、山林の手入れから家具づくりなどを障害のある人と一緒に行うことが評価され、林野庁の「林福連携で行う優れた地域材製品開発等」補助事業に採択されました。これにより、ベンチや赤ん坊の玩具の開発、製造をはじめています。また、家具づくりに必要な木工機械は、大手建設会社の清水建設を母体とする「社会福祉法人清水基金」からの助成を受けて整備を行っています。山林の保全活動と家具づくりなどが、障害のある人やさまざまな理由で働きづらさを抱えた人の仕事にできるよう取り組んでいます。

- 林福連携事業……事業費575万円（うち280万円林野庁補助）
- 木工機械整備事業……事業費1,010万円（うち700万円清水基金助成）

障害のある人も家具や玩具をつくれるよう手順を構造化している。



04 「杜の家やしお」の水害対策と修繕工事を行いました

埼玉県八潮市にある「杜の家やしお」は、中川と綾瀬川に囲まれた地域で、これらの河川が氾濫した場合は浸水が想定されています。このため1階の入居者が上層階に避難しやすくするための改修工事と、避難時に必要な換気量を確保するための水害対策工事を実施しました。特別養護老人ホームのリビングの窓の形状を改良したり、和室をフローリングの居室に改修し、ベッドのまま避難が受け入れできるようにしています。施設のエレベーターは停電しても稼働できるように非常電源に接続しているほか、さらに車いすのまま階段が登れる「階段昇降機」を1台導入しました。また、「杜の家やしお」は開設から13年が経過し、空調設備の不具合が発生していたため、すべての空調機と換気装置の更新工事を行っています。

- 空調設備更新事業……事業費7,590万円（補助なし）
- 水害対策事業……事業費2,508万円（うち1,734万円国庫補助）



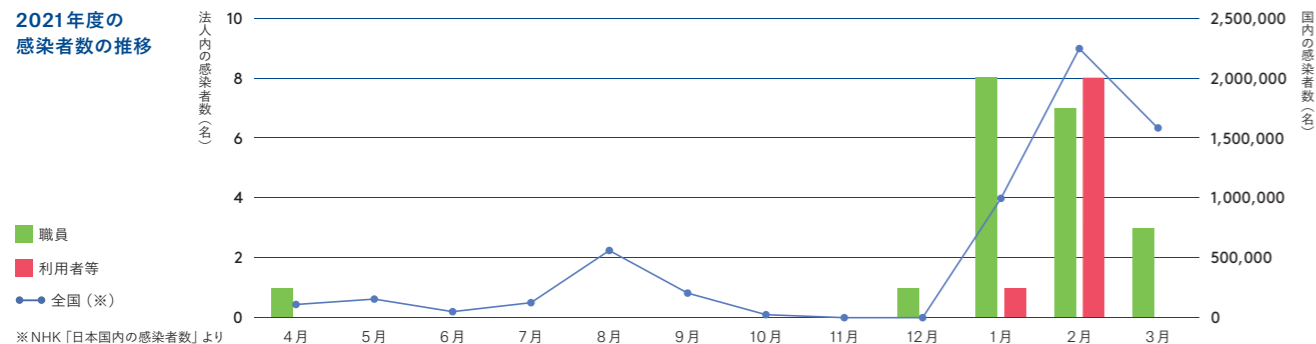
ほぼすべてのユニットの和室をフローリングに改修した。

05

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策

2021年4月1日時点の日本国内におけるCOVID-19の感染者数は2,605人でした。その後、7月中旬くらいからデルタ株による感染者数が増加しはじめ、8月下旬に1日あたりの感染者が2万5千人を超えピークを迎えました。2021年9月下旬から12月末までは感染は下火となり落ち着きを見せていましたが、2022年になるとオミクロン株による感染者が急増し、2月上旬に1日あたりの感染者が10万人を超え、2022年3月31日時点では51,891人となりました。

福祉楽団の特別養護老人ホームでは集団感染（クラスター）は発生しませんでした。「シタカタ保育所」（千葉県成田市）では、2022年2月に集団感染と思われる事例が発生しています。2021年度中の陽性者は、職員が20名、福祉サービス利用者では9名となっています。陽性の診断はなかったものの発熱や健康観察で就業制限を受けた職員は83名にのぼり、これらの影響をうけて勤務調整が発生し職員の身体的な負担が増加する要因となりました。



ワクチン接種の実施

特別養護老人ホームの入居者、職員に対しては、自治体と連携し、嘱託医、医療機関の協力のもとワクチンの優先接種をすすめました。2021年5月から1回目の接種を開始し、8月11日には2回目の接種がほぼ完了しています。施設において、大規模にワクチンの集団接種を行ったことは初めてでしたので、福祉楽団の看護師チームにより接種方法の確認や研修を行ったほか、ワクチンの副反応への相談対応を行っています。3回目の接種は1月下旬からはじまり2月中旬にはほぼ完了しています。



「杜の家くりもと」での集団接種の様子

在宅陽性者へ訪問介護を継続

2022年1月からオミクロン株の感染者が急増し、陽性となった要介護者が自宅療養となるケースが相次ぎました。福祉楽団では、要介護者やその家族が陽性となった場合でも訪問介護を継続する方針とし、陽性となった要介護者が、ほかの福祉事業者からサービス提供を断られたケースに対しても新規にサービス提供を開始するなどして対応にあたりました。職員の感染を防ぐための个人防护具や抗原検査キットの費用が発生したほか、陽性となった要介護者への訪問介護にあたる職員を固定するなどの勤務調整などにも必要になりました。



个人防护具を脱ぐときの様子

介護職員等に対する手当の支給

陽性者の対応にあたった介護職員等に対して2022年3月25日に「コロナ対応手当」を1人あたり2万円、総額470万円を支給しています。

COVID-19データ（2021年度）

項目	数
福祉楽団の施設内でのワクチン接種延べ人数	2,211名（入居者等845名・職員1,366名）
陽性となった職員	20名
陽性となった利用者等	9名
陽性者への訪問介護	延べ57日
就業制限を受けた職員	83名

感染症対策物品の消費量の変化

品名	当年度	前年度	前年比
消毒用アルコール（ℓ）	7,807	5,795	134.7%
使い捨てマスク（枚）	230,499	262,503	87.8%
使い捨て手袋（枚）	1,663,300	1,507,300	110.3%
個人用防護具（枚）	4,535	3,629	125.0%

外部から見た福祉楽団

経営連携の必要性 — 経験を共有しケアの質を追求する時代へ

社会福祉法人「みねやま福祉会」は、京都府北部で、児童、高齢者、障がい者の福祉事業を行っています。規模としては、20事業所で年間の事業収入は約26億円です。

近年、社会福祉法人の経営環境は変化の激しさを増しています。1つは、人口減少です。地域の限りある資源を有効に活用するためにも、支えあいの仕組みの再構築が必要になっています。2つめは、デジタル化への対応です。「効率化」のためではなく「ケアの質の向上」のためのICT活用でなければなりません。こうした変化に対応していくためにも、経営連携の必要性を感じています。

経営連携を進めると、職員が他法人の取り組みや課題を知ることになり、多様な視座を得ることが出来ます。さらには、災害発生時の助け合いや、新型コロナウイルス感染症のような新たな危機のときにも、経験を共有することで、事業継続がしやすくなるでしょう。

福祉楽団は「行動が早い」という印象を持っています。介護記録システムの「ケアコラボ」の導入や事業の内容も「とりあえずやってみる」というスタンスが感じられます。若いスタッフでどのようにマネジメントを展開しているのか、どのようにリーダーを育成しているのかが気になる点でもあります。

社会福祉法人は「ケアの質」を追求することが重要です。そのために、福祉楽団とも、あらいざら腹を割って話せる関係性が築けたらいいと考えています。



榎田啓

社会福祉法人みねやま福祉会 理事
児童養護施設でらす峰夢 施設長

メディア掲載（主なもの）

テレビ

- TBS / 2021年10月30日『とれたてハッピー!』
> 千葉県香取市・福祉楽団の農福連携
- TBS / 2021年11月6日『とれたてハッピー!』
> 千葉県香取市・福祉楽団の薪
- BS朝日 / 2021年12月4日『パトタッチ』
> 地域の問題と福祉を結びつけば「幸せ」が生み出せる
- BS朝日 / 2022年2月27日
『ハリー杉山の介護を考える～“生きる”を支えるプロの仕事～』
> 「杜の家なりた」の介護実践
- NHK / 2022年2月27日『ニュース7』
> COVID-19に感染した要介護者への介護サービス 行政への訴え
- NHK / 2022年3月5日『ニュース7』
> 必要な治療が受けられる体制整備を

書籍

- 左右社 / 2022年2月発行『ケアとアートの教室』飯田大輔・金野千恵 他
> 福祉と建築が向き合う、答えなきもの

雑誌

- 公益財団法人社会福祉振興・試験センター / 2021年12月発行
『介護専門職情報誌 介護福祉』2021年冬季号
> 介護の魅力とはなにか

YouTube

- FUKUSHI FOR CONVIVIALITY / 2021年8月公開
『介護とは何か。一生活を整えていく実践—』
> 「杜の家やしお」の介護実践



介護とは何か。
一生活を整えていく実践—

YouTubeでご覧いただけます→



ハリー杉山の介護を考える
～“生きる”を支えるプロの仕事～

YouTubeでご覧いただけます→

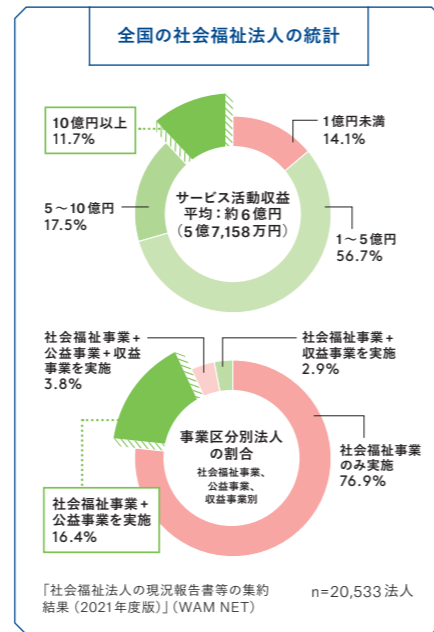
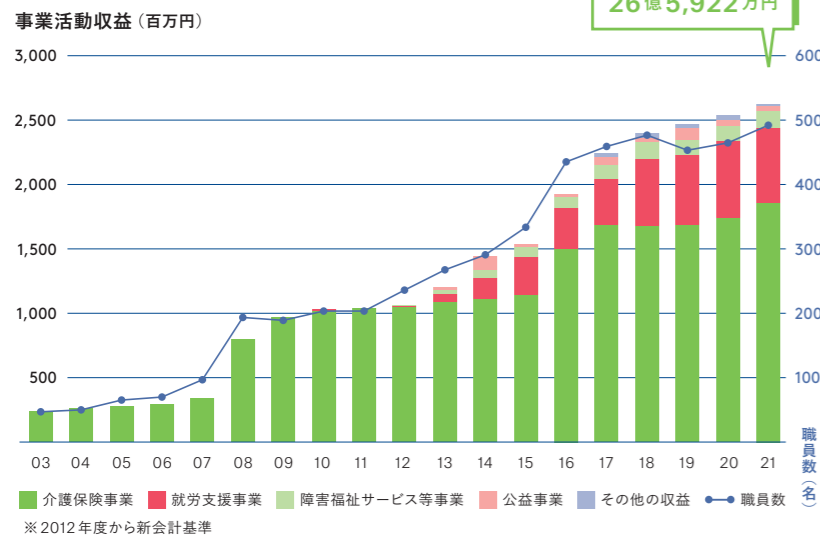


ケアとアートの教室 左右社（1,800円+税）

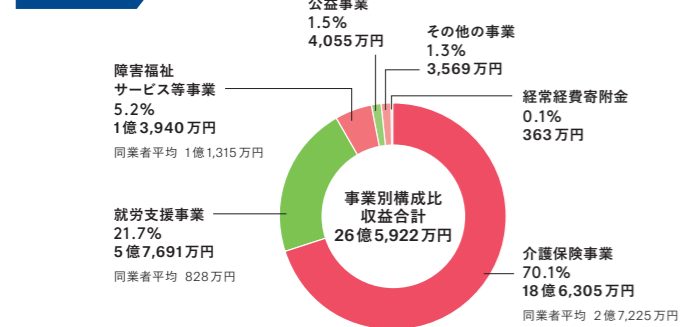
財務ハイライト

- ▶ サービス活動収益(売上高)は、すべての拠点区分において増収となり、前期比4.32%増収の26億5,922万円となりました。
- ▶ 杜の家くりもと拠点区分、杜の家やしお拠点区分は、増収減益となり、業務改善が必要な状況です。
- ▶ 杜の家なりた拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、前期比13.01%増の7億7,169万円となり、増収増益となっています。
- ▶ 栗源拠点区分は、「恋する豚研究所」の事業が減収減益、「就労継続支援B型事業」は利用者を増やし増収となっています。

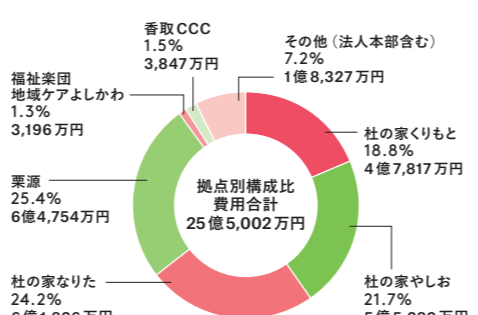
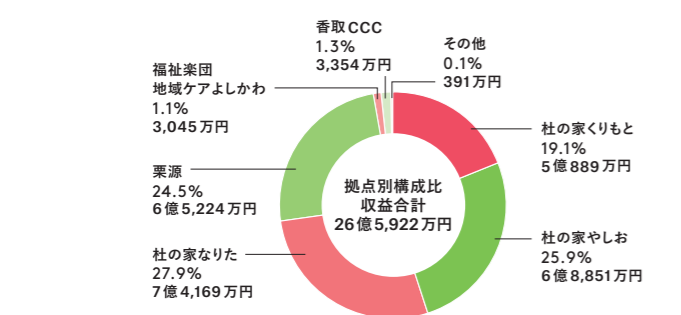
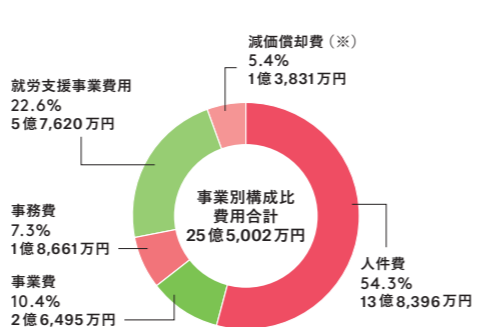
事業活動収益と職員数



収益内訳



費用内訳



資金収支計算書 (キャッシュフロー計算書)

(自) 2021年4月1日 (至) 2022年3月31日

(単位:円)

勘定科目		金額
事業活動による収支	収入	
	介護保険事業収入	1,863,047,383
	就労支援事業収入	576,914,833
	障害福祉サービス等事業収入	139,400,570
	公益事業収入	40,552,556
	借入金利息補助金収入	132,730
	経常経費寄附金収入	3,627,224
	受取利息配当金収入	11,791
	その他の収入	59,066,835
	事業活動収入計(1)	2,682,753,922
支出	人件費支出	1,383,955,673
	事業費支出	264,953,842
	事務費支出	186,605,538
	就労支援事業支出	549,460,158
	支払利息支出	21,284,594
	その他の支出	7,174,828
	事業活動支出計(2)	2,413,434,633
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	269,319,289	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	28,369,000
	固定資産売却収入	68,000,000
	施設整備等収入計(4)	96,369,000
	支出	
	設備資金借入金元金償還支出	210,903,000
固定資産取得支出	182,886,687	
固定資産除却・廃棄支出	44,000	
ファイナンス・リース債務の返済支出	8,411,976	
施設整備等支出計(5)	402,245,663	
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	▲305,876,663	
その他の活動による収支	収入	
	長期運営資金借入金収入	50,000,000
	長期貸付金回収収入	1,209,064
	その他の活動による収入	122,920
その他の活動収入計(7)	51,331,984	
支出		
長期運営資金借入金元金償還支出	48,388,000	
長期貸付金支出	3,234,353	
その他の活動による支出	420,000	
その他の活動支出計(8)	52,042,353	
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	▲710,369	
予備費支出(10)	—	
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	▲37,267,743	
前期末支払資金残高(12)	495,665,396	
当期末支払資金残高(11) + (12)	458,397,653	

事業活動計算書 (損益計算書)

(自) 2021年4月1日 (至) 2022年3月31日

(単位:円)

勘定科目		金額
サービス活動増減の部	収益	
	介護保険事業収益	1,863,047,383
	就労支援事業収益	576,914,833
	障害福祉サービス等事業収益	139,400,570
	公益事業収益	40,552,556
	経常経費寄附金収益	3,627,224
	その他の収益	35,686,600
	サービス活動収益計(1)	2,659,229,166
	費用	
	人件費	1,383,955,673
事業費	264,953,842	
事務費	186,605,538	
就労支援事業費用	576,203,432	
減価償却費	195,929,781	
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲57,619,692	
サービス活動費用計(2)	2,550,028,574	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	109,200,592	
サービス活動外増減の部	収益	
	借入金利息補助金収益	132,730
	受取利息配当金収益	11,791
	その他のサービス活動外収益	23,380,235
	サービス活動外収益計(4)	23,524,756
費用		
支払利息	21,284,594	
その他のサービス活動外費用	7,174,828	
サービス活動外費用計(5)	28,459,422	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	▲4,934,666	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	104,265,926	
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	28,369,000
	特別収益計(8)	28,369,000
	費用	
固定資産売却損・処分損	83,630	
国庫補助金等特別積立金積立額	28,369,000	
特別費用計(9)	28,452,630	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	▲83,630	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	104,182,296	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	707,979,022
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	812,161,318
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	0
	その他の積立金積立額(16)	0
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	812,161,318	

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	753,947,234	流動負債	527,392,086
現金預金	279,627,032	短期運営資金借入金	110,000,000
事業未収金	400,439,286	事業未払金	165,786,501
未収金	2,374,074	その他の未払金	0
未収補助金	40,420,503	1年以内返済予定設備資金借入金	183,519,000
貯蔵品	14,200,456	1年以内返済予定長期運営資金借入金	49,008,000
商品・製品	3,237,792	1年以内返済予定リース債務	7,021,894
仕掛品	867,234	預り金	1,388,360
原材料	3,601,363	職員預り金	10,489,031
立替金	2,693,994	前受金	179,300
前払費用	6,485,500		
固定資産	4,047,873,804	固定負債	2,328,221,720
基本財産	3,373,904,588	設備資金借入金	2,085,783,000
土地	408,546,356	長期運営資金借入金	230,799,000
建物	2,965,358,232	リース債務	10,961,720
		敷金・保証金等預り金	678,000
その他の固定資産	673,969,216		
土地	11,661,152	負債の部合計	2,855,613,806
建物	400,781,043		
構築物	14,694,101		
機械及び装置	75,569,101		
車輛運搬具	51,335		
器具及び備品	57,800,687		
建設仮勘定	26,072,500		
有形リース資産	9,450,698		
権利	1,736,769		
ソフトウェア	9,556,684		
無形リース資産	8,532,924		
投資有価証券	2,670,000		
長期貸付金	15,390,550		
設備整備等積立資産	24,000,000		
差入保証金	15,970,302		
長期前払費用	11,370		
その他の固定資産	20,000		
		純資産の部	
		基本金	79,459,000
		第1号基本金	35,410,000
		第3号基本金	44,049,000
		国庫補助金等特別積立金	1,030,586,914
		その他の積立金	24,000,000
		設備整備等積立金	24,000,000
		次期繰越活動増減差額	812,161,318
		(うち当期活動増減差額)	104,182,296
		純資産の部合計	1,946,207,232
資産の部合計	4,801,821,038	負債及び純資産の部合計	4,801,821,038

借入金期末残高(借入先別)

2022年3月31日現在

(単位:円)

借入先	設備資金借入金	長期運営資金	短期運営資金	合計
独立行政法人福祉医療機構	1,639,183,000	120,000,000	0	1,759,183,000
京葉銀行	321,931,000	0	0	321,931,000
銚子商工信用組合	143,412,000	38,984,000	0	182,396,000
埼玉りそな銀行	117,917,000	0	0	117,917,000
佐原信用金庫	46,859,000	26,676,000	30,000,000	103,535,000
きらぼし銀行	0	44,169,000	80,000,000	124,169,000
みずほ銀行	0	47,827,000	0	47,827,000
千葉銀行	0	2,151,000	0	2,151,000
合計	2,269,302,000	279,807,000	110,000,000	2,659,109,000

主要な経営指標

経営指標	算式	参考指標	法人全体	社の家くりもと	社の家やしお	社の家なりた	栗源	福祉楽団 地域ケア よしかわ	香取 CCC
人件費率	=人件費 ÷サービス活動収益	※7 66.5%	55.2%	65.2%	55.3%	57.5%	20.9%	82.2%	95.6%
経費率	=経費[※1] ÷サービス活動収益	※6 23.8%	17.0%	23.5%	18.7%	17.7%	73.2%	19.7%	17.2%
事業費率	=事業費 ÷サービス活動収益	※7 14.5%	10.0%	15.7%	12.6%	11.6%	1.0%	10.5%	5.6%
事務費率	=事務費 ÷サービス活動収益	※7 10.1%	7.0%	7.8%	6.1%	6.1%	0.9%	9.2%	11.6%
減価償却費率	= (減価償却費-国庫補助 金等特別積立金取崩額) ÷ サービス活動収益	※7 6.8%	10.5%	11.5%	10.6%	13.7%	6.1%	4.9%	1.8%
経常収益対 支払利息率	=支払利息 ÷経常収益[※2]	※6 0.5%	0.8%	0.2%	1.1%	1.3%	0.4%	—	—
現預金対事業 活動支出比率	=現金預金 ÷ (事業活動支出計 ÷ 12か月)	※7 3.9 か月	1.4 か月	—	—	—	—	—	—
流動比率	=流動資産 ÷ 流動負債	※7 320.9%	143.0%	434.0%	218.6%	144.8%	47.9%	42.2%	22.6%
固定長期適合 比率	=固定資産 ÷ (自己資本 + 固定負債)	※7 83.8%	94.7%	76.2%	85.5%	95.9%	160.2%	▲27.4%	▲29.1%
借入金比率 (借入依存度)	=借入金残高合計[※3] ÷総資産	※7 17.3%	66.1%	—	—	—	—	—	—
債務償還年数	※4	※7 4.6年	9.8年	-0.8年	1.6年	8.0年	21.1年	—	—
EBITDA有利子 負債倍率	※5	—	8.9倍	—	—	—	—	—	—
サービス活動 増減差額比率 (営業利益率)	=サービス活動増減差額 ÷サービス活動収益	※7 2.80%	4.11%	6.04%	19.70%	16.63%	0.72%	▲4.94%	▲14.70%
経常増減差額 比率 (経常利益率)	=経常増減差額 ÷サービス活動収益	※7 3.26%	3.92%	6.29%	18.95%	15.75%	1.30%	▲6.72%	▲14.20%
当期活動増減 差額比率 (最終利益率)	=当期活動増減差額 ÷サービス活動収益	—	3.92%	1.57%	7.91%	1.04%	1.29%	▲6.72%	▲14.20%

※1 経費=事業費+事務費

※2 経常収益=サービス活動収益+サービス活動外収益

※3 借入金残高合計=短期運営資金借入金+1年以内返済予定設備資金借入金+1年以内返済予定長期運営資金借入金+1年以内返済予定リース債務+設備資金借入金+長期運営資金借入金+リース債務

※4 債務償還年数=[借入金残高合計-{(事業未収金+未収金+未収補助金+棚卸資産等)-事業未払金} ÷ (経常増減差額+減価償却費+国庫補助金等特別積立金取崩額[マイナス値])]

※5 EBITDA有利子負債倍率=[(短期運営資金借入金+1年以内返済予定設備資金借入金+1年以内返済予定長期運営資金借入金+設備資金借入金+長期運営資金借入金)-現預金] ÷ (経常増減差額+減価償却費+国庫補助金等特別積立金取崩額[マイナス値])

※6 「2020年度(令和2年度)社会福祉法人の経営状況について」(独立行政法人福祉医療機構)

※7 「社会福祉法人の現況報告書等の集約結果(2021年度版)」(WAM NET)

事業の経過およびその成果

当会計年度におきましては、世界的に流行している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束が見通せず、依然として先行きが不透明な状況が続いております。また、ロシアのウクライナ侵攻により世界情勢が不安定化し、物価の上昇が続いております。これらの状況の変化は、今後の事業環境に影響を及ぼす可能性があると思定しています。

このような状況のなか、「ケアを考え“くらし”を良くし 福祉を変える」活動を着実に展開し地域社会と向き合っていく社会福祉法人として、事業に取り組んでまいりました。とりわけCOVID-19の感染症対策については感染管理チームの設置やワクチン接種に法人全体で取り組み、入所施設における集団感染は発生させずに事業を継続できております。また、COVID-19の陽性者となった在宅の利用者には、他の事業者が福祉サービスの提供を停止していくなかで、当法人では訪問介護の提供を継続させるなど、利用者の視点に立ったサービス提供を実践してまいりました。

当法人の当会計年度のサービス活動収益（売上高）は、前期比4.32%増収の26億5,922万円となりました。このなかには「新型コロナウイルス感染症流行下におけるサービス提供体制確保事業」の1,268万円と、2022年2月から開始された国の「介護職員処遇改善

杜の家くりもと拠点区分

増収減益 人員配置の適正化とベッド稼働率向上が喫緊の課題

杜の家くりもと拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比0.95%増の5億889万円となりました。特別養護老人ホームやショートステイ等のベッド稼働率は前期比からわずかに改善したものの98.81%にとどまり改善の余地を残します。また拠点全体では、人件費率が前期比2.41%上昇しています。特に通所介護は苦戦し、前期比2.69%の減収となり、人員配置のマネジメントもうまくできず、人件費率は6.77%の上昇となりました。訪問介護や居宅介護支援は順調に推移し、増収増益となっております。当拠点の経常利益率は前期比4.00%減の6.29%となり、法人本部の経費を差し引くと厳しい経営状況となっております。

杜の家やしお拠点区分

増収減益 地域に向けたサービス提供が業績改善の鍵

杜の家やしお拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比1.54%増の6億8,850万円となりました。特別養護老人ホーム、ショートステイ等のベッドの稼働率は堅調に推移し、前期比0.17%増の100.51%でした。それに伴う収入は、前期比1.04%増となりました。訪問介護については横ばい、居宅介護支援は件数を伸ばし、増収増益となりました。訪問介護の職員を確保しサービス提供につなげられれば増収を見込む余地があります。企業主導型保育事業は12.93%の減収、配食サービスは13.79%の減収となりました。保育所の地域枠の拡大や、配食の地域ニーズの開拓をすすめています。当拠点の経常利益率は、3.21%減の18.95%となりました。

杜の家なりた拠点区分

増収増益 法人最大の拠点に稼働率の安定と地域に向けたサービス提供が事業成長の鍵

杜の家なりた拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比13.01%増の7億4,169万円となりました。当法人の事業拠点のなかで最も大きな事業規模の拠点となりました。当拠点では、休止していたショートステイ10床（共生型）を、2021年6月から運用開始し、特別養護老人ホーム、ショートステイ等のベッド稼働率は、前期比2.98%上昇しました。通所介護の稼働率は11.33%上昇、居宅介護支援の件数も増加となり、増収となりました。放課後等デイサービスはCOVID-19の影響で利用の制限等を行ったことから利用者数は減少しましたが報酬の加算等を適正に算定するなどして増収を確保しました。当拠点の経常利益率は、4.48%増の15.75%となりました。

支援補助金」の313万円が含まれており、これらは職員の手当等に充てております。感染症対策については職員の心理的な負荷が高い状態が長期間にわたって続いていることを思えば、十分な額とは言えない状況です。

サービスごとでは、放課後等デイサービス、通所介護、就労支援事業の一部にCOVID-19の影響が見られたものの、法人全体としては堅調に推移し、すべての拠点区分において増収となりました。事業費・事務費については、エネルギー価格の上昇に伴う電気料金の増加が1,180万円増となったほか、EPAによる介護人材の「あっせん手数料」「日本語研修」等の支出が1,050万円、職員住宅の借り上げ費用が前期比630万円増となったことなどが影響し経費率が上昇しました。

法人全体でのサービス活動増減差額（営業利益）は、前期比17.42%減（▲2,304万円）、経常増減差額（経常利益）は、前期比21.15%減（▲2,797万円）となりました。特別増減において、杜の家やしお拠点区分において「水害対策事業」による施設改修を行い、それに伴う施設整備等補助金収益とそれに伴う費用を計上しております。これらにより、当期活動増減差額（最終利益）は、1億418万円（最終利益率3.92%）となりました。

栗源拠点区分

恋豚事業は減収減益

販路拡大と食堂の原価適正化が起死回生の鍵
農林事業は就労Bの利用者を増やし、
農林作業の構造化が経営安定に必要

栗源拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比0.24%増の6億5,223万円で、ほぼ横ばいとなりました。「恋する豚研究所」の事業の精肉の卸事業は、農場会社における家畜の感染症発生に伴う出荷制限や取引先との卸売価格の変更などの影響があり、売上高は前期比5.73%減の4億5,111万円となり減収減益となりました。食堂・直売所部門は、堅調に推移し、売上高は前期比2.54%の増収となりましたが、職員の人員配置や食材原価のコントロールがうまくいかず減益となりました。

「1K・農林事業」は、就労継続支援B型の利用者が増加したこと、農産物の売上が堅調に推移したことなどから、売上高は前期比38.15%増の5,870万円となりました。赤字の脱却には至らず、営業利益は▲30万円で、農地所有適格法人と連結した営業利益は▲320万円となりました。

当拠点の経常利益率は、0.44%減の1.30%となりました。

福祉楽団 地域ケアよしかわ拠点区分

増収 こまかなコスト意識を持ち、
行政や地域と連携したサービス展開を目指す

福祉楽団 地域ケアよしかわ拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比29.38%増の3,045万円となりました。訪問介護の提供時間数、居宅介護支援の件数、ともに増加し、増収となりました。当拠点の経常利益は▲204万円となっておりますが、経営戦略上の人員配置を行っているためのものです。

香取CCC拠点区分

業務効率化と日々のコスト意識が支援の質向上に必要

香取CCC拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比8.59%増の3,353万円となりました。千葉県からの受託事業の内容が変更になったほか、NPO法人の業務受託を行っているため増収となりました。コロナ禍や社会情勢の変化に応じた相談員の配置を行います。日々の業務ではコストの適正化を行い、ICT導入による効率化が課題です。

対処すべき課題

1 ケアの質の向上とベッド稼働率の安定化に向けた取り組み

利用者や職員の安全を確保し、人権が守られるように安全・CSのための取り組みを強化してまいります。ご利用者ひとりひとりの個性が尊重され、持てる力、健康な力を活用して、自立を促すケアを実践していくために、アセスメントの適切な実施、医師、薬剤師など専門職との連携、ケアラボの活用をすすめてまいります。また施設の取り組みや制度について、ご家族や、地域の人から理解されやすいように情報発信の仕方を工夫し、丁寧な説明を行います。

燃料価格や介護資材の物価上昇、社会保険適用拡大の影響については、ベッド稼働率を安定化し、収入を確保するとともに、こまかなコスト削減を適切に実施することで対処してまいります。なお、2022年10月から予定されている社会保険適用拡大の事業者負担の増加額は2022年度分でおよそ600万円、燃料価格の上昇によるコスト増はおよそ1,500万円を見込んでいます。

燃料価格や介護資材の物価上昇、社会保険適用拡大の影響については、ベッド稼働率を安定化し、収入を確保するとともに、こまかなコスト削減を適切に実施することで対処してまいります。なお、2022年10月から予定されている社会保険適用拡大の事業者負担の増加額は2022年度分でおよそ600万円、燃料価格の上昇によるコスト増はおよそ1,500万円を見込んでいます。

3 人材の育成と処遇改善

人材の育成は当法人の最重要ともいえる課題です。積極的な登用を行い、任せていくことで、その職員の能力や持てる力を引き出します。ほかの法人との人事交流、研修機会などが減少していったので、そうした機会を適切に再開させ、職員の学ぶ機会をつくり意欲を喚起します。また、職員の給与については現行の介護報酬の中で最大限支払える金額を支払っていくことを基本方針として確認し、その責任と成果に応じて適切に評価し、納得感のある処遇を整えてまいります。

5 新たな児童養護施設整備の推進

当法人では、千葉県習志野市に児童養護施設を中心とした社会福祉施設整備をすすめています。2023年3月の着工を目指して現在、行政協議をすすめているところです。子どもの生活にとって最善の空間を考え、地域の人との交流が生まれるような施設拠点を目指してまいります。また、施設整備費の一部が寄付でまかなえるように新たな寄付プログラムを創設し、寄付金の募集を行ってまいります。

6 新たな事業領域の開拓

千葉県、埼玉県、神奈川県自治体の福祉計画等の情報を収集し、今後の事業展開の方向性について検討をすすめます。重層的支援体制整備についても自治体と連携し、積極的に提案を行いながら地域の福祉ニーズが適切にキャッチできるような新たな地域福祉のあり方を検討します。障害者のグループホーム、農林福連携事業については新たな事業計画の策定を行い、2023年度に着手できるように取り組んでまいります。

2 地域に向けた事業、サービスの積極的な展開

社会福祉法人として地域に向けた事業を強化し、制度の「すき間」をカバーするような実践を行います。配食サービスの「杜ごはん」、有償運送の「杜バス」について地域への情報発信を行いニーズの掘り起こしを行います。COVID-19の影響で制限していた「みんなの食堂」もより多くの人利用を再開できるように対応してまいります。

訪問介護、居宅介護支援等の在宅サービスについても新たに人材を異動、配置するなど展開を強化します。地域の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように分野横断的なサービス提供を目指して事業を展開してまいります。

訪問介護、居宅介護支援等の在宅サービスについても新たに人材を異動、配置するなど展開を強化します。地域の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように分野横断的なサービス提供を目指して事業を展開してまいります。

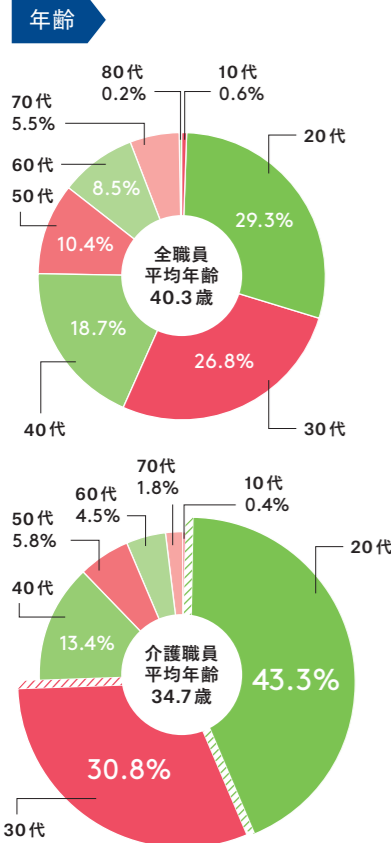
4 デジタル化への対応と職員の負担軽減

人事・労務管理や、介護記録などデジタル化をさらにすすめ、バックオフィス業務の合理化と職員の負担軽減をすすめます。また、クラウド電話などを活用することで、ソーシャルワークの質の向上や記録の簡素化がすすめられるかを検証してまいります。備品の管理やご利用者への日常生活用品の販売管理についてもデジタル化をすすめ、中間の事務にかかる負担とコストを削減します。

6 新しい事業領域の開拓

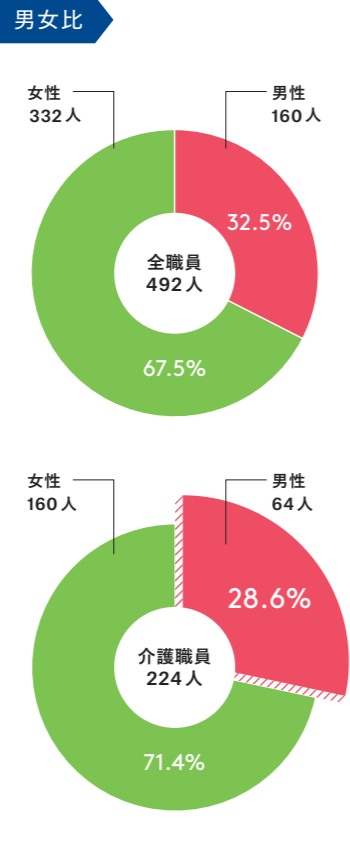
千葉県、埼玉県、神奈川県自治体の福祉計画等の情報を収集し、今後の事業展開の方向性について検討をすすめます。重層的支援体制整備についても自治体と連携し、積極的に提案を行いながら地域の福祉ニーズが適切にキャッチできるような新たな地域福祉のあり方を検討します。障害者のグループホーム、農林福連携事業については新たな事業計画の策定を行い、2023年度に着手できるように取り組んでまいります。

職員について



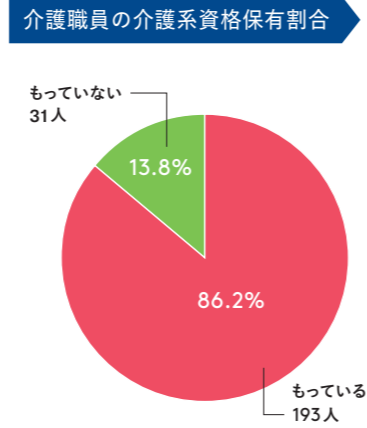
▶ 介護職員における全国平均年齢は47.5歳(※)です。福祉楽団の介護職員は20代から30代の職員が74%を占めており、若い職員が活躍しています。

※全国平均年齢は「令和2年度 介護労働実態調査」(介護労働安定センター)を参照した。



▶ 介護職員における全国男性比率は20.9%(※)です。福祉楽団の男性比率は28.6%となっており、全国平均より多くの男性が活躍しています。

※全国平均は「令和2年度 介護労働実態調査」(介護労働安定センター)を参照した。



資格種別

資格種別	保有人数	保有割合
ホームヘルパー2級	43	19.2%
介護職員初任者研修修了	86	38.4%
介護職員実務者研修修了	56	25.0%
介護福祉士	101	45.1%
外国の看護師等の資格	27	12.1%
いずれかの資格保有者数	193	86.2%

▶ 特別養護老人ホームの介護職は無資格であっても勤務できますが、無資格の職員を減らしていくことが課題となっています。新規学卒者は、新入職員研修を受講すると全員が「介護職員初任者研修」の修了資格が取得できるようにプログラムされています。

障害者の雇用率 7.32%

(障害者の法定雇用率 2.3%)

▶ 民間企業の全国平均は2.20%(※)ですが、福祉楽団では7.32%となっています。法人全体で36名の障害者雇用を行っています。

※全国平均は「令和3年 障害者雇用状況の集計結果」(厚生労働省)を参照した。

外国籍職員の雇用状況

(単位:名)

国籍	在留資格					合計
	介護	特定技能	技能実習	特定活動(EPA)	その他	
インドネシア	0	3	5	26	0	34
ベトナム	0	0	0	1	0	1
フィリピン	0	0	0	9	1	10
ロシア	0	0	0	0	1	1
合計	0	3	5	36	2	46

ガイル さん (31)
 杜の家くりもと ケアサービスワーカー
 フィリピン出身

2021年9月 EPA 介護福祉士候補者として福祉楽団に入職



職員は親切で仕事を楽しんでいます。日本語で会話できるのはよい練習になります。インドネシア出身の職員も多く、親戚も同じ施設で働いているので安心できます。「杜の家くりもと」は近くにスーパーがないのが少し不便ですが、職員と一緒に買物へ連れて行ってくれます。日本のラーメンが好きで、休日は有名なお店に食べに行きます。

平均勤続年数・採用率・離職率・平均年齢

		平均勤続年数	採用率 [全国平均]	離職率 [全国平均]	平均年齢
介護職員	フルタイム	3.9	29.4% [16.2%]	13.8% [14.9%]	31.9
	パートタイム	4.9	25.0% —	20.3% —	41.8
それ以外の職種	フルタイム	4.9	11.1% —	9.5% —	36.2
	パートタイム	3.8	27.5% —	25.4% —	46.3

※全国平均は、「令和2年度 介護労働実態調査」(介護労働安定センター)を参照した。

各拠点別

	営業年数	平均勤続年数	採用率	離職率	平均年齢
杜の家くりもと	19.0	5.9	19.4%	17.9%	40.1
杜の家やしお	13.9	5.1	15.6%	11.7%	33.7
杜の家なりた	5.8	3.3	34.4%	10.4%	34.4
栗源	9.5	5.3	6.3%	12.5%	36.9
地域ケアよしかわ	7.9	13.0	0.0%	0.0%	40.0
香取CCC	5.0	5.1	14.3%	0.0%	34.9
サポートセンター	20.3	6.6	5.0%	5.0%	41.0

※上記はフルタイム職員を対象として算出した。※採用(離職)率=2021年度の採用(離職)者数÷2022年3月31日の在籍者数

新規学卒者の状況

	採用者数	3か月未満の離職者数	3か月以上6か月未満の離職者数	6か月以上1年未満の離職者数	1年未満の離職者数	1年未満の離職率
2019年度	21	1	0	2	3	14.3%
2020年度	17	0	0	1	1	5.9%
2021年度	22	1	1	0	2	9.1%

※1年未満の離職率=1年未満の離職者数÷採用者数

有給休暇等の取得状況

年次有給休暇の取得状況

	付与人数	付与総日数	取得総日数	取得率 (前年度)	[全国平均]
フルタイム	317	4,660	3,387	72.7% (76.9%)	—
パートタイム	204	2,176	1,773	81.5% (78.8%)	—
法人全体	521	6,836	5,160	75.5% (77.5%)	[56.6%]

※全国平均は、「令和3年 就労条件総合調査」(厚生労働省)における「年次有給休暇の取得状況」を参照した。

リフレッシュ休暇の取得状況

① 12日間以上の連休(勤続2年以上の職員が対象)

	付与人数	付与総数	取得総数	取得率 (前年度)	平均連休日数 (前年度)	最長連休日数
介護職員	105	525	525	100.0% (94.7%)	13.21 (12.48)	28
法人全体	208	1,040	1,035	99.5% (91.0%)	12.56 (11.32)	28

② 5日間以上の連休(勤続4年以上の職員が対象)

	付与人数	付与総数	取得総数	取得率 (前年度)	平均連休日数 (前年度)	最長連休日数
介護職員	87	261	258	98.9% (95.8%)	7.35 (7.04)	11
法人全体	172	516	504	97.7% (92.2%)	6.95 (6.45)	14

賃金の状況

	平均勤続年数 [全国平均]	平均年収 [全国平均]	平均年齢 [全国平均]
介護職員	4.8 [8.0]	3,291千円 [3,597千円]	31.9 [43.5]
相談援助職(介護支援専門員を含む)	7.5 —	4,041千円 —	40.8 —
全体	5.7 —	3,627千円 —	43.1 —

※全国平均は、「令和3年 賃金構造基本統計調査」(厚生労働省)から、「介護職員(医療・福祉施設等)」を参照した。
 ※上記は、2022年3月31日在職のフルタイム職員を対象に算出した。
 ※「介護職員」は、職種区分が「部長級以上」を除く職員で算出した。
 ※「平均年収」は、勤続年数1年以上の職員を対象にした。

利用者について

ベッドの稼働率 (特養・ショート・グループホーム)

拠点名	稼働率
杜の家くりもと	98.81%
杜の家やしお	100.51%
杜の家なりた	99.30%
法人全体	99.60%
全国平均(※)	93.60%

▶ 福祉楽団のベッド稼働率は、昨年度比 1.32% 増となっており、全国平均と比較しても高くなっていますが、職員の処遇改善を行っていくためには、100% に近い運営をしていく必要があります。

※「2020年度 特別養護老人ホームの経営状況について」(独立行政法人福祉医療機構)の定員規模100人以上の特別養護老人ホームの利用率を参照した。

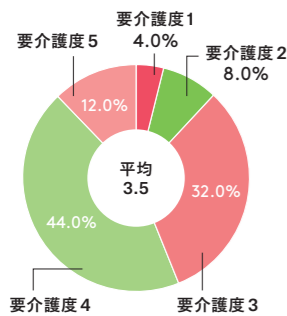
特養の待機者の状況 (単位:名)

拠点名	待機者数
杜の家くりもと	91
杜の家やしお	107
杜の家なりた	63

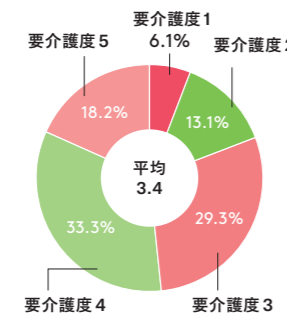
2022年3月31日現在

特養の要介護度

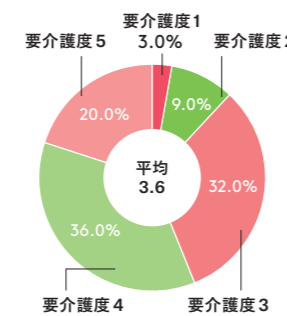
■ 杜の家くりもと



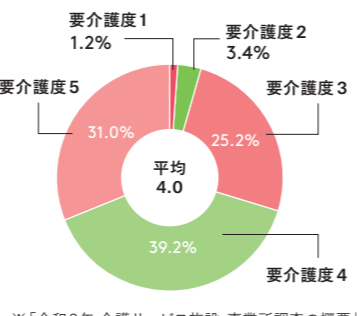
■ 杜の家やしお



■ 杜の家なりた



■ 全国平均(※)

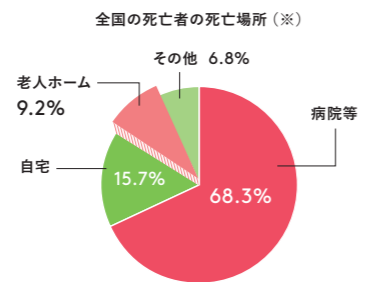


※「令和2年 介護サービス施設・事業所調査の概要」(厚生労働省)の「介護老人福祉施設」を参照した。

特養の終末期ケアの状況

拠点名	死亡退所者数	看取り介護加算算定件数	死亡場所		
			施設	その他	施設の割合
杜の家くりもと	15	12	13	2	86.7%
杜の家やしお	21	12	13	8	61.9%
杜の家なりた	24	16	16	8	66.7%
法人全体	60	40	42	18	70.0%

▶ 死亡場所の統計を見ると、約7割の人が病院で亡くなります。老人ホームで死亡する人は9.2%となっています。福祉楽団では、「杜の家」で最期を迎えたいという人に対しては、最期まで生活が継続できるように支援しており、終末期ケアに積極的に取り組んでいます。2021年度は施設で42名のお看取りをさせていただいております。



※「2020年度 人口動態調査」(厚生労働省)から、「死亡場所別にみた年次別死亡数」を参照した。

医療的ケアが必要な方の人数 (単位:名)

拠点名	医療用麻薬等を使用した疼痛管理が必要な方	在宅酸素	喀痰吸引	胃ろう・腸ろう	経鼻経管栄養	IVH
杜の家くりもと	0	0	0	1	0	0
杜の家やしお	0	1	5	5	1	0
杜の家なりた	0	5	3	3	0	0
法人全体	0	6	8	9	1	0

2022年3月31日現在

デイサービスの利用率

拠点名	高齢者デイ	児童デイ
杜の家くりもと	65.91%	—
杜の家なりた	49.07%	63.59%
法人全体	59.38%	63.59%
全国平均(※)	68.60%	84.70%

※「2020年度 通所介護事業所の経営状況について」[2020年度 児童系障害福祉サービスの経営状況について] (独立行政法人福祉医療機構)を参照した。

訪問介護の月平均のサービス提供時間数

拠点名	提供時間数 (時間)
杜の家くりもと	386.6
杜の家やしお	551.1
地域ケアよしかわ	377.1
法人全体	1,314.8

ケアマネの人数と居宅介護支援の件数 (単位:名)

拠点名	ケアマネ人数	利用者数 (要支援)	利用者数 (要介護)
杜の家くりもと	3	18	101
杜の家やしお	4	6	154
杜の家なりた	2	9	60
地域ケアよしかわ	2	2	62
法人全体	11	35	377

2022年3月31日現在

そのほかの報告事項 OTHERS

事故の発生状況

■ レベル5以上の事故の発生状況 (単位:件)

事故レベル	福祉楽団の事故レベル定義 (抜粋)	杜の家くりもと	杜の家やしお	杜の家なりた	地域ケアよしかわ	法人全体
5 (事故)	・全治14日以上(見込)の治療や入院が必要となった。 ・事故の結果、障害や後遺症が残った。	5	9	7	0	21
6 (事故)	・事故により死亡となる。(原疾患の自然経過によるものを除く。)	0	0	0	0	0
合計		5	9	7	0	21

■ レベル5以上の事故の内訳について (単位:件)

拠点名	骨折	誤嚥	行方不明	その他	合計
杜の家くりもと	5	0	0	0	5
杜の家やしお	8	0	0	1	9
杜の家なりた	7	0	0	0	7
法人全体	20	0	0	1	21

虐待および身体拘束の状況

■ 虐待の状況 高齢者虐待防止法に定める「虐待の疑い」があると判断して市町村へ通報した事案は2件でした。通報をした事案の詳細は次のとおりです。

施設名	グループホーム杜の家くりもと(千葉県香取市)	特別養護老人ホーム杜の家くりもと(千葉県香取市)
種類	高齢者虐待防止法に基づく虐待の疑い	高齢者虐待防止法に基づく虐待
通報先	香取市福祉健康部高齢者福祉課	香取市福祉健康部高齢者福祉課
通報日	2021年4月10日	2022年2月25日
経過等	女性介護職員が、乱暴な介助やきつい声かけを行っている時があり、グループホームに入居者から恐怖を感じる旨の申し出がありました。法令に従い香取市に通報のうえ立入調査の結果、身体的虐待及び精神的虐待とは判断されませんでした。	男性介護職員が、特別養護老人ホームの入居者に対して首のあたりを強く掴んで介助を行ったことにより内出血を発生させました。ほかの介護職員が発見し内部調査を行い、法令に従い香取市に通報しました。立入調査の結果、身体的虐待に該当すると判断されております。

■ 身体拘束の状況

拠点名	実施実人数(名)	実施延べ日数(日)	内容
杜の家くりもと	2	65	【特養入居者】骨折による安静が必要であったが、認知症によりベッドから転落することがあり、臥床中4点柵を行う
杜の家やしお	0	0	
杜の家なりた	0	0	

当法人では原則として身体拘束は行いません。しかし、以下の「緊急やむを得ない場合」の3要件に該当する場合は身体拘束を行うこともあり、それらについては情報公開をしたうえで、その必要性の検討と、身体拘束の早期解除を目指して援助していきます。

「緊急やむを得ない場合」の3要件

- 切迫性 利用者本人または他の利用者の生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高い場合
- 非代替性 身体拘束以外に代替する介護方法がないこと
- 一時性 身体拘束は一時的なものであること

感染症等の集団発生状況

感染症法に定める1類から5類の感染症及び指定感染症について施設内での発生はありませんでした。新型コロナウイルス感染症の集団感染はありませんでした。

車両事故の発生状況 (単位:件)

事故レベル	杜の家くりもと	杜の家やしお	杜の家なりた	地域ケアよしかわ	栗源	香取CCC	サポートセンター	法人全体
1 (インシ)	7	0	0	0	0	0	0	7
2 (事故)	4	2	0	0	1	3	0	10
3 (事故)	1	0	1	0	3	0	0	5
4 (事故)	0	0	0	0	0	0	0	0
5 (事故)	0	0	0	0	0	0	0	0
6 (事故)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	2	1	0	4	3	0	22

労働災害の状況 (単位:件)

拠点名	件数	職種	主な被災内容
杜の家くりもと	1	事務職員	転倒による臀部の痛み
杜の家やしお	3	介護職員	消毒による手湿疹・手荒れ
		介護職員	転倒による左足首捻挫(通勤時)
杜の家なりた	1	介護職員	転倒による臀部打撲、左足捻挫(通勤時)
		保育職員	転倒による左大腿・下腿の筋挫傷
栗源	4	工場職員	清掃による左手小指切傷
		工場職員	カット作業による右手第三指及び第四指の切創
		調理補助	調理による左手親指先切傷
		調理補助	調理による左手第三指先切傷
合計	9		

関連当事者との取引等の内容

■ **関連当事者との取引について** 当法人は、社会福祉法人会計基準により開示対象となる取引はありません。

■ **その他** 開示対象となる関連当事者との取引はありませんが、以下の取引について公表します。

種類	法人等の名称	所在地	事業の内容	議決権の所有者とその割合	取引の内容	取引金額
役員又は評議員及びこれらの近親者が議決権の過半数を有している法人	株式会社生活ラボ	千葉県千葉市	社会福祉施設の開設支援並びに経営に関する指導及び助言、不動産の賃貸	飯田大輔 (85.0%)	社会福祉施設の経営に関する指導及び助言の業務受託 アパート(職員住宅)の賃料支払い	360千円 7,632千円
(関連当事者に該当ませんが、当法人が株式を所有している会社)	ケアコロポ株式会社	東京都世田谷区	ソフトウェアの企画、製作、販売及び運営	当法人 (19.0%) 飯田大輔 (32.6%)	介護記録システム「ケアコロポ」の利用料支払い	3,018千円
(関連当事者に該当ませんが、当法人が株式を所有している会社)	株式会社香取農業耕社(農地所有適格法人)	千葉県香取市	農作物、林作物の生産・加工・販売	当法人 (19.0%) 飯田大輔 (29.0%)	農作物、林作物の生産・加工・販売の業務受託 農作物の購入	9,368千円 693千円
(関連当事者に該当ませんが、重要性が高いと判断した会社)	株式会社恋する豚研究所	千葉県香取市	豚肉及び食肉加工品の企画、販売	飯田大輔 (45.0%)	精肉スライス、精肉加工、梱包発送作業等の業務受託 精肉加工品等の購入	412,578千円 4,165千円

内部監査

当法人の理事長は、当法人の常務理事に内部監査の担当を命じます。担当者は、内部管理体制の状況等のモニタリングを行い、法令、定款および法人の規定に照らして適正かつ有効に行われていることを確認します。これら内部監査の結果について、内部監査報告書を作成し、理事長に報告します。指摘すべき事項がある場合には、当法人の理事長の承認を得たうえで、要改善事項として指摘し、改善実施状況の確認を行います。

監事の監査報告書（謄本）

<p>社会福祉法人 福祉楽団 理事長 飯田 大輔 殿</p>	<p>監査報告書</p>
<p>私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。</p>	
<p>1. 監査の方法及びその内容</p>	<p>2. 監査の結果</p>
<p>各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決議書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。</p>	<p>(1)事業報告等の監査結果</p> <p>① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。</p> <p>② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。</p> <p>(2)計算関係書類及び財産目録の監査結果</p> <p>計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。</p>
<p>2022年5月19日 社会福祉法人 福祉楽団</p>	<p>監事 大原 裕介 ㊞ 監事 星川 望 ㊞</p>

行政監査の結果

次の事業に対する指導事項はありませんでした。杜の家くりもと(特別養護老人ホーム／2021年11月29日)、杜の家やしお(特別養護老人ホーム／2021年12月13日)、ツルガソネ保育所(認可外保育施設／2021年7月29日実施)、シタカタ保育所(認可外保育施設／2021年11月24日)、オオバタケ保育所・イワベの保育所(認可外保育施設／2021年11月29日)、福祉楽団 地域ケアよしかわ(居宅介護・重度訪問介護・同行援護／2021年6月23日)、訪問介護ステーション杜の家やしお(居宅介護・重度訪問介護／2021年12月20日)

実施日	2021年7月27日(火)
根拠法令	介護保険法第23条、第78条の7、第115条の17及び第115条の27
対象種別	居宅介護支援センター杜の家くりもと
実施官庁	香取市
実施場所	杜の家くりもと(香取市岩部869-60)
監査結果	以下のとおり

● **改善を要する事項** | 指定基準に関する改善指導 [内容及び手続きの説明・同意]
あらかじめ、利用申込者又はその家族に対し、第20条に規定する重要事項に関する規定の概要、介護従業者の勤務の体制、その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該提供の開始について利用申込者の同意を得なければならない。運営規定、重要事項説明書、契約書の修正をしてください。修正後、再提出してください。

▶ **対応結果** | 改善指導のあった事項について、令和3年8月19日の理事会にて運営規程の変更を諮り、添付のとおり、修正を行いました。また、契約書、重要事項説明書についても、添付のとおり、修正を行っております。

● **改善を要する事項** | 指定基準に関する改善指導 [指定居宅介護支援の基本取扱方針]
自らその提供する指定居宅介護支援の質の評価を行い、常にその改善を図らなければならない。介護支援専門員ごとのケアプランの評価を実施してください。その際は評価について記録してください。

▶ **対応結果** | 指定居宅介護支援の質の評価については、法人の内部監査や居宅介護

支援の定期ミーティング等で、ケアプランの確認や評価を行ってりましたが、その都度、評価の記録として残すことができていませんでした。今後は、別紙「ケアプランチェックリスト」を活用し、定期的に評価を行うとともに、評価した内容は記録し、事業所内で共有することとします。

● **改善を要する事項** | 指定基準に関する改善指導 [指定居宅介護支援の具体的取扱方針]
居宅サービス計画に短期入所生活介護又は短期入所療養介護を位置付ける場合、利用日数が要介護認定の有効期限のおおむね半数を超えないようにしていますか。(利用者の心身の状況、本人、家族等の意向に照らし、上記の日数を超えた利用が必要と認められる場合を除く。)ショートステイの認定期間が半数を超える利用者については、利用者の心身の状況や本人、家族等の意向に照らし、居宅サービス計画書等に正当な理由を位置付け記載してください。また、早期解消に努めてください。

▶ **対応結果** | ショートステイの認定期間が半数を超える利用者が1名おりました。本人の心身の状況や、本人、家族等の意向に照らし、添付のとおり、7/27付で居宅サービス計画書等に正当な理由を位置付け記載しました。また、本人は以前より特別養護老人ホームへの入所を希望しているため、複数の施設への入所申込みを促し、早期解消に努めていきます。

● **改善を要する事項** | 報酬請求に関する改善指導 [特定事業書加算の請求]
特定事業所加算Ⅲについて、下記期間における請求がなされていなかった。確認いただき、該当があれば過誤申請を提出してください。期間：令和2年9月から令和3年3月サービス提供分

▶ **対応結果** | 特定事業所加算Ⅲについて、介護保険請求システムを確認したところ、何らかの原因で、令和2年9月から令和3年3月までの期間、請求がなされていませんでした。令和3年8月27日に、香取市高齢者福祉課と協議を行い、令和3年10月より過誤申請に関する手続きを進めていくこととしています。今後は、複数名が介護給付費明細書を確認し、請求が適切に行われるよう、対応してまいります。

● **改善を要する事項** | 報酬請求に関する改善指導 [入院時情報連携加算の算定要件]
先方と口頭でのやり取りがない方法(FAXやメール、郵送等)により情報提供を行った場合には、先方が受け取ったことを確認するとともに、確認したことについて居宅サービス計画等に記載してください。

▶ **対応結果** | 入院時情報連携加算の算定要件である入院時の医療機関への情報提供については、FAXにて行っておりました。先方が受け取ったことの確認は、FAXの返信及び受取者サインにて確認を行ってりましたが、医療機関から返信がない場合に、受け取りを確認した記録がないことがありました。今後は、必ず先方が受け取ったことを確認するとともに、確認したことについて記録を行うよう、改善します。

実施日	2021年7月27日(火)
根拠法令	介護保険法第23条、第78条の7、第115条の17及び第115条の27
対象種別	グループホーム杜の家くりもと
実施官庁	香取市
実施場所	杜の家くりもと(香取市岩部869-60)
監査結果	以下のとおり

● **改善を要する事項** | 指定基準に関する改善指導 [内容及び手続きの説明及び同意]
認知症対応型共同生活介護の提供の開始に際し、あらかじめ、利用申込者又はその家族に対し、第31条に規定する運営規定の概要、従業者の勤務の体制その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該提供の開始について利用申込者の同意を得なければならない。運営規定、重要事項説明書、契約書の修正をしてください。修正後、再提出してください。

▶ **対応結果** | 改善指導のあった事項について、令和3年8月19日の理事会にて運営規定の変更を諮り、添付のとおり、修正を行いました。また、契約書、重要事項説明書についても、添付のとおり、修正を行っております。

● **改善を要する事項** | 指定基準に関する改善指導 [認知症対応型共同生活介護の取扱方針]
自らその提供する指定認知症対応型共同生活介護の質の評価を行うとともに、定期的に外部の者による評価または運営推進会議における評価を受けて、それらの結果を公表し、常にその改善を図らなければならない。外部評価の結果を入居者家族へ送付し、情報を公表してください。

▶ **対応結果** | 令和3年5月26日に外部評価機関による訪問調査を受け、令和3年5月28日に香取市へ評価結果の報告を行ってりましたが、入居者家族等への公表が実施できておりませんでした。令和3年9月末までに、添付のとおり、評価結果を入居者家族等へ送付し、公表するように対応します。

● **改善を要する事項** | 指定基準に関する改善指導 [地域との連携等]
指定地域密着型通所介護事業者は、指定地域密着型通所介護の提供に当たっては、利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、市の職員又は当該指定地域密着型通所介護事業所が所在する区域を管轄する法第115条の46第1項に規定する地域包括支援センターの職員、地域密着型通所介護について知見を有する者等により構成される協議会(以下「運営推進会議」という。)を設置し、おおむね6月に1回以上、運営推進会議に活動状況を報告し、運営推進会議による評価を受けるとともに、運営推進会議から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない。(準用)地域密着型通所介護は認知症対応型共同生活介護、6月とあるのは2月と読み替えるものとする。運営推進会議の開催について、運営推進会議をおおむね2カ月に1回開催してください。新型コロナウイルス感染症対策の為、開催の延期や文章による開催など柔軟に対応してください。なお、開催後は議事録を市へ提出してください。

▶ **対応結果** | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、外来者の立ち入りを制限したことにより、令和2年4月以降の運営推進会議は施設職員のみで2カ月に1回開催しておりました。今後は、感染対策を徹底したうえで、開催方法を検討してまいります。開催後は議事録を入居者家族等に公表するとともに、香取市へ提出を行います。

● **改善を要する事項** | 報酬請求に関する改善指導 [看取り介護加算]
看取り介護加算の算定要件は、看取りに関する指針を定め、入居の際に、利用者又はその家族等に対して、当該指針の内容を説明し、同意を得ていることが要件となります。看取りに関する指針が整備されていたが、入居時に説明し、同意を得たという客観的な記録(署名等)が見当たらない方がいました。看取り開始前に同意を得ていたのは確認できましたが、「様式1ターミナルケアについての生前の意思確認書」が入居時に同意書として提出しただけでない方がいたようです。今後は指針に同意欄を設けるなど、加算の算定要件を満たすよう見直しを検討してください。

▶ **対応結果** | 入居時に看取りに関する指針の説明を行い、同意を得てりましたが、同意書としている「様式1ターミナルケアについての生前の意思確認書」を提出していただけていない方がいました。原因として、本様式にある終末期ケアに関する意向の内容について、その場での判断が難しく、未提出になっていた方がいました。今後は、入居の際にその時点意向を記入し、提出していただくように改善します。

実施日	2021年10月19日(火)
根拠法令	企業主導型保育事業指導・監査等基準 第5
対象種別	企業主導型保育所
実施者	公益財団法人児童育成協会
実施場所	シタカタ保育所(成田市下方668-1)
監査結果	以下のとおり

● **改善を要する事項** | [助成関連]
児童の昼食費を徴収しているが、運営費の支出対象経費であり不適切であるので、改めること。

▶ **対応結果** | 地域枠については昼食費も含めた保育料金を設定しております。自社枠については、保護者の勤務時間により昼食を必要としない児童もいます。昼食が不要な際のコスト負担を軽減するため、保育料と昼食費を分けて料金を設定しておりました。保育料は実施要綱に定められている利用者負担相当額よりもはるかに少額の料金としており、昼食費と合わせた額についても、負担相当以下の金額としておりました。今後は、昼食費を分けて徴収することのないよう、保育料金の設定を見直します。

● **改善を要する事項** | [保育関連]
保育サービスの利用については、保護者からの申込書に社印の押印のみで利用を認めているが、会社名、代表者氏名及び承認日としての日付等を記載するか、申込書に対して許可書発行するなど、契約書としての体裁を整えること。

▶ **対応結果** | 契約書を作成し、契約書と重要事項説明書をもって利用契約を締結するよう改めました。

● **改善を要する事項** | [保育関連]

児童の登降園簿等に、欠席事由(病欠、自然災害、自己都合等)に関する記録を残していないのでは正すこと。

▶ **対応結果** | 出欠簿に、欠席事由を入力する欄を新たに設けました。

実施日	2021年10月22日(金)
根拠法令	企業主導型保育事業指導・監査等基準 第5
対象種別	企業主導型保育所
実施者	公益財団法人児童育成協会
実施場所	イワベの保育所(香取市岩部869-48)
監査結果	以下のとおり

● **改善を要する事項** | [助成関連]
整備費の助成を受けた施設において、定員と現員に大きな乖離がある。増員見込みもあるようだが、引き続き利用児童の増員策を図ること。

▶ **対応結果** | 2021年12月15日付、新たに2名(従業員枠)が利用を開始しました。また、2022年4月以降の増員も見込めるよう、香取市子育て支援課及び栗源市民活動支援センターに広報活動を行います。

● **改善を要する事項** | [助成関連]

児童の昼食費を徴収しているが、運営費の支出対象経費であり不適切であるので、改めること。

▶ **対応結果** | 2022年2月1日付で、別紙「重要事項説明書」内の「10.利用料金」とおり改善を図りました。

● **改善を要する事項** | [保育関連]

保育サービスの利用については、保護者からの申込書に社印の押印のみで利用を認めているが、会社名、代表者氏名及び承認日としての日付等を記載するか、申込書に対して許可書を発行するなど、契約書としての体制を整えること。

▶ **対応結果** | 2022年2月1日付で、別紙「イワベの保育所利用契約書」として体制を整えました。

● **改善を要する事項** | [保育関連]

調理に携わる職員(給食盛付者、給食介助者を含む)について、検便が実施されていない職員3名があったので、おおむね1回確実に実施すること。

▶ **対応結果** | 調理に携わる職員の検便について、2021年11月以降、月1回確実に実施するよう改善しました。

● **改善を要する事項** | [保育関連]

児童の給食については、関連事業者が運営する(社会福祉施設)から外部搬入しており覚書を取り交わしているが、契約金額及び搬入方法等の記載を追記すること。

▶ **対応結果** | 社会福祉施設から外部搬入に関する覚書について、契約金額及び搬入方法等の記載を追求し、2021年10月22日付で覚書を取り交わし改善しました。

実施日	2022年1月11日(火)
根拠法令	企業主導型保育事業指導・監査等基準 第5
対象種別	企業主導型保育所
実施者	公益財団法人児童育成協会
実施場所	ツルガソネ保育所(八潮市鶴ヶ根606-1)
監査結果	以下のとおり

● **改善を要する事項** | [助成関連]
0～2歳児(従業員の無償化対象外)について、保護者から食事の提供に要する費用を徴収しているので、早急には正すこと。

▶ **対応結果** | 地域枠については、昼食を含めた料金設定としておりましたが、従業員枠に関しては、昼食を必要としない短時間利用の児童もあり、費用負担の軽減から分けて徴収しておりました。今後は、保育料金の見直しを行い、昼食費を分けて徴収することのないようにします。



自立的で創造的な人々の交わりと遊びごころのある共生社会を実現するための事業方針

誰もがありのままに、その人らしく、地域で暮らすためのアクション

子ども、高齢者、障害のある人など、だれもが、ありのままに、その人らしく地域で暮らすことができる地域共生社会を実現するため、創造的な福祉実践を展開していきます。特別養護老人ホーム等の福祉施設においても、家族や地域住民と新しいかたちでのつながりをつくります。福祉現場からの臨床研究や情報発信を積極的に行い、福祉実践に対する市民の理解を深める取り組みを展開します。産業化の進展とともに人々の生活や福祉の在り様はますます複雑化していくと考えられます。長期的な視点に立った支援のあり方や、生命の危機を見逃さないための仕組みを整えます。また、福祉事業者だけで地域の諸課題を解決することは困難です。さまざまな産業、NPO、行政、市民との協働を一層進めて、楽しく暮らせる地域社会の実現を目指します。

1

- 1 科学的根拠に基づくケア実践と、福祉臨床を活用したケア研究の推進
- 2 特別養護老人ホーム等の中核事業のケア実践力向上と情報発信
- 3 すべての拠点で、分野を横断した「伴走型」の相談支援体制の確立
- 4 ほかの産業やNPO、行政と協働した地域を楽しくするための事業実施
- 5 社会情勢の変化に伴う「福祉施設」の新しいあり方の検討と提案

多様性を前提とした自ら学び、創造力を引き出すチームマネジメント

職員もひとりひとり多様であるという前提にたち、職員が自立し、創造的に学び、向上していけるような機会を保障します。教育や研修という受動的かつ名詞としての人材育成ではなく、自ら学び、意欲が湧き、創造力が引き出されるようなチーム、組織のあり方を検討し、具体的に行動します。職場に少しの楽しさと、面白みをつくることを意識し、職員ひとりひとりの創意工夫やアイデアを大切にします。学びの機会創出にはICTによるツールの開発や、ほかの福祉事業者と連携するなど、より広い視野をもって実施していきます。外国人職員の割合も高くなるなかで、そうした組織の環境に合わせた情報提供のあり方を再検討し、質の高いチームビルディングが実現されるよう工夫していきます。

2

- 1 職員が自ら気づき、学ぶ機会を保障し、支援します。
- 2 人事制度には「楽しさ」や「面白さ」が感じられるよう改善します。
- 3 「やさしい日本語」による情報発信の仕組みを整えます。
- 4 多様性がリアルに理解できるような機会を継続的につくります。
- 5 職員ひとりひとりの能力を信頼し、積極的な起用を行います。

安定した経営と、持続可能な経営基盤の確立

持続的な成長のためには、安定した経営基盤が必要になります。財務状況について明確な目標を定め、適切なモニタリングを実施し、即時的な業務改善につなげます。不安定要素の高い就労支援事業等には新規の投資を凍結し、既存施設の修繕や改修について計画的に進めていきます。バックオフィスの業務効率化のため、ほかの法人との連携や、すべてのコストについて見直し、最適化を図るとともに、ICTの活用やケアの質の向上、職員の業務負担軽減のための投資は積極的に行います。物品の調達にあたっては、自然環境への負荷や社会的公正について適正に評価し、調達基準を明確にします。自然災害や感染症のパンデミックなどの備えのため一定のキャッシュポジションを確保します。また、災害対策計画の見直しをすすめるとともに、備蓄品や非常時の体制について段階的に整備をすすめます。福祉楽団の事業について発信し、応援したい、寄付したいと思ってくれる人を募り、実践についてきちんとフィードバックし、寄付したことが楽しく感じられる仕組み、福祉楽団「サポーターズ」を充実させていきます。

3

- 1 財務状況についての目標値の設定と達成のためのモニタリングと改善経常増減差額比率は、毎年3%以上を確保する
EBITDA [(有利子負債-現金) ÷ (経常利益+減価償却)] は、毎年12倍以内とする
2024年3月末時点でのキャッシュポジションは3億円とする
- 2 就労支援事業など収入の不安定要素が高い事業への新規投資の凍結
- 3 ICTの活用による合理化と業務改善
- 4 建物の修繕の計画的な実施
- 5 自然環境と社会的公正に配慮した調達基準の策定と実施
- 6 災害や非常時に備えた計画の見直しと備蓄等の段階的整備
- 7 福祉楽団「サポーターズ」の拡大
2021年3月120名 2022年3月140名 2023年3月160名 2024年3月180名

1 ケア実践力の向上

1 適切な姿勢保持と褥瘡予防の取り組み

- ▶ 施設であらたな褥瘡をつくることがないように適切な体位交換、福祉用具の活用、栄養評価を行います。
- ▶ 椅子やテーブルの高さ、姿勢保持について適切なアセスメントとケア展開を行います。

2 処方薬の再評価と医師との連携

- ▶ 入居者等に処方されている薬の再評価を薬剤師、医師と連携してすすめます。
- ▶ 介護職員に対して、処方薬の基本的な知識を伝えるための研修を行います。

3 断らない相談支援の仕組みづくり

- ▶ すべての事業所の相談支援部門は「断らない相談」「包括的な相談」を基本方針として相談者がかかえるさまざまな困難、不安、複雑な事情に対して、ワンストップかつ制度横断的な視点をもってかかわっていくためのスキルと能力の向上を図ります。
- ▶ 法人全体で月1回のケース検討会議を開催し、多様なケースの追体験と、ナレッジの共有を行います。

4 障害のある人のあらたな就労支援

- ▶ 大型の農業機械を導入するなど農業の効率的な経営を行い、工賃アップを目指します。また、木工作业については、家具の製作と販売を行い、障害のある人の働く機会の創出に取り組みます。
- ▶ 刑余者、累犯障害者1名を新たに採用します。

2 豊かな創意工夫が生まれる人材育成と組織づくり

1 大胆で積極的な起用

- ▶ 入職年や経験年数にこだわらず、職員の持てる力を見極めて大胆で積極的な起用を行います。

2 ケアチーム専門職の配置

- ▶ 法人全体のケアについてマネジメントする介護福祉士を1名配置します。
- ▶ また、ケアチームへの看護師の配置、採用についても積極的に取り組みます。

3 マネジメント層の基本的な業務スキルの習得支援

- ▶ 課長、部長級の職員に対して、福祉サービスの「契約事務」のやり方や、基本的なマニュアルについての研修を実施します。

4 外国人職員向けの研修の実施

- ▶ 日本語をオリジナルとしない職員に対して、「虐待防止」「ユマニチュード」「介護展開過程」などスキルの研修を「やさしい日本語」で実施します。

5 介護職員の処遇改善

- ▶ 2022年2月からの国の介護職員処遇改善の施策は、対象を介護職員として、毎月の給与に確実に配分できるように対応します。

3 バックオフィスの体制見直しとデジタル化の推進

1 バックオフィスの組織改編

- ▶ 「サポートセンター」を「コーポレート統括部」に改編し、バックオフィス職員のモチベーション向上と、将来に向かって効率の良い事務執行体制がとれるようにします。

2 新しい人事情報管理システムへの移行

- ▶ 2022年4月から新しい人事情報管理システムに段階的に移行し、9月から新システムに完全移行します。職員が主体的にシステム上で各種の手続きを進められるようにして事務職員の業務負担を減らします。

3 ブラウザ電話の試験的導入とIP無線の活用

- ▶ 一部の事業所でブラウザ電話を試験導入し、通話メモや録音データを活用して、顧客対応やソーシャルワーク業務の品質改善を図ります。従来から導入しているIP無線もケア実践場面で有効に活用し、業務効率化と、ケアの質の向上を図ります。

4 2022年度制度改正への対応と適切な報酬算定

- ▶ 2022年2月からの介護職員処遇改善補助金や2022年10月からの新処遇改善加算に対応し、介護職員の処遇改善を適切に実施します。また、算定できる加算を適正に算定し、安定した収入を維持できるようにします。科学的介護加算は2022年6月から算定できるよう対応します。

5 施設修繕の計画的な実施

- ▶ すべての施設の修繕計画を再度検証して、計画的に修繕が実施できるようにします。
- ▶ 2022年度は「杜の家くりもと」の外壁塗装、防水工事などを実施します。

4 新事業の推進と未来に向けての取り組み

1 千葉県習志野市における福祉施設の実施設設計

- ▶ 児童養護施設、一時保護施設、子どものショートステイ、看護小規模多機能居宅介護、認知症対応型共同生活介護、就労継続支援B型の複合的な福祉施設の整備計画の実施計画を行います。2023年3月着工、2024年3月の竣工を目指して進めます。

2 千葉県香取市に障害者グループホーム等の整備検討

- ▶ 栗源第一薪炭供給所の利用者や職員の住まいとして、グループホームと職員住宅の基本計画を策定します。

3 重層的相談支援体制整備の事業の検討

- ▶ 「重層的支援体制整備」について自治体と連携した取り組みや情報交換をすすめます。また、保育や、社会的養護、里親支援などの子ども分野の施策、自治体における再犯防止計画の策定の情報収集、生活困窮者への支援のあり方などについて、行政と連携した取り組みができるよう勉強会や情報収集をすすめます。

4 新しい社会福祉施設のあり方の検討

- ▶ 変化する社会情勢のなかで社会福祉施設がどのような役割を果たしていくべきか、新しい社会福祉施設のあり方について検討をすすめます。

5 企業からの寄附金をあつめるプラットフォーム

- ▶ 児童養護施設をはじめとした子ども分野の事業について、制度外の支援にも積極的に取り組めるように企業からの寄附金募集のプラットフォームを立ち上げます。

杜の家くりもと事業部

事業部長 久古 浩孝



01

利用者の持つ自然な回復力が促進されるケアを展開していきます。

- 自然な排泄が促進される食事を提供し、下剤等の減量を目指します。
- 利用者の睡眠状態を介護ロボット等で把握し、睡眠薬の投与量や服薬時間などを見直します。
- 自分の力で食事が摂れるように、食事の時は車いすから椅子に移り、姿勢の安定を図ります。
- 老朽化したベッドマットレスを入れ替えます。

03

既存のサービスを継続しつつ、新たなサービスの拡充を進めます。

- 地域のニーズに応えるため、7月から共生型デイサービス事業を始めます。
- ベッド稼働率は年間98%以上、デイサービスは年間75%以上を目指し、事業の安定を図ります。

02

質の良いケアを提供するため、基本的なケアを学び実践します。

- 不適切なケアを防ぐため、職員は「マナーアップ5か条」を実践します。小さな傷や内出血は、発生原因を分析しその都度対策を講じます。
- ケアの目的や手法等、基本的なケアに関するOFF-JTを年間計画し、学びの場を設けます。

04

外国人職員が働きやすい環境を整えます。

- 1年目の外国人職員には、職場内で仕事や生活に係るサポートを設置します。また、定期的に面談を行い、仕事や生活に関する不安などの解消に努めます。
- 基本的なケアの学びを深めるため、通訳を交えた学習の場を設けます。

杜の家なりた事業部

事業部長 安部 明子



01

ケアの専門性を高め、ひとりひとりに合わせたケアを提供します。

- 人体の構造としくみを学ぶ勉強会を年6回開催し、エビデンスに基づいたケアを実践します。
- 入居時やケアプラン更新時に、ご本人やご家族と面談し、ケアコラボの人生録を充実させます。今までの暮らしぶりや生活リズムをもとに、ご本人が望む暮らしを考え、提供していきます。
- 口腔ケアについての知識と技術を向上させ、誤嚥性肺炎を予防するとともに、食事をおいしく食べられるように多職種で協働します。

02

住み慣れた場所で暮らしが継続できるよう、支援体制を充実させます。

- 2022年8月から訪問介護事業を開始します。
- 介護支援専門員を増員し、居宅介護支援のサービスを拡充させます。
- 感染予防策を徹底しながら、2022年6月から「ごはんの日」を再開し、地域住民と交流する機会を増やします。

03

職員がやりがいや成長を感じながら働ける環境を整えます。

- OFF-JTを見直し、職員が意欲的に学び、実践に活かせる内容にあらためます。
- Zoomを活用するなど、他拠点の研修へ参加しやすい環境を整え、多様な研修に参加できるようにします。
- 施設内での研修体制を整え、認定特定行為業務従事者の認定者を15名増員します。
- 他部署や他事業所でのトライアルジョブを年3回実施し、視野を広げる機会を創出します。

杜の家やしお事業部

事業部長 石間 太朗



01

利用者の持てる力を活かし、生活の幅を広げていくケアを実践します。

- 利用者の状態に合わせた椅子やテーブル、福祉用具を準備し、椅子に座って自身で食事を摂れる環境を整備します。
- 利用者の「できそうなこと」に着目し、ユニットリーダーとリハビリチームで年6回OFF-JTを開催し、ケアワーカーが生活リハビリを実践していきます。
- ケアコラボの薬局連携機能を用いて、利用者の処方薬の再評価について薬剤師を含めた多職種で行います。
- ショートステイに理学療法士を配置し、家の環境に合わせた機能訓練を行います。

02

地域の人々と共に地域の課題を考え、地域のニーズに沿ったサービスを展開します。

- 災害時に社会資源として認知、活用してもらえるよう、年に2回、地域の人と水害対策訓練や炊き出しを実施します。
- 地域に不足している、共生型ショートステイや同行支援のサービスを9月から開始します。
- 庭木を整理し、施設内に花を増やし、地域の人々がふらっと寄って休憩できるような環境をつくります。
- 感染症対策について、地域の人を招いた勉強会を年に2回開催します。

03

職員の視野を広げ、やりがいを持って働ける環境を整備します。

- 施設の相談員が「断らない相談支援」を実践できるよう、定期的に外部の相談支援機関で研修できる体制をつくります。
- 在宅での看取りについてのOFF-JTを年6回開催し、施設職員が在宅介護を学ぶ機会を確保し、在宅復帰支援を行えるようにしていきます。
- 他部署や他事業所でのトライアルジョブを年に2回開催し、ケアの質を高めます。

福祉楽団 地域ケアよしかわ事業部

事業部長 中村 麻里



01

訪問介護員のケアの専門性を高め、質の高いケアを提供します。

- 訪問介護のマネジメント体制を強化し、ケアの質や職員の育成等を適切に管理できるようにします。
- 法人内のケアマイスター制度を活用し、ケアの理論を伝えることができるケアマイスターを2名以上配備することを目指します。
- 個別援助計画立案の勉強会を2か月に1回おこない、ケアプランに則ったケアの実施や評価ができるようにします。

02

分野を問わず幅広い相談を受け付け、利用者に伴走できる相談支援の力を向上させます。

- 介護保険に関わる相談のほか、障害福祉サービス利用者の相談支援も担当し、地域のニーズに応じていきます。
- 有資格者の配置や週1回以上のケースミーティングの開催、24時間の連絡体制の確保、研修の実施など、特定事業所加算を算定できる体制を整備します。
- 法人内のケース検討会（月1回）や地域の事業所との勉強会（年4回）、関係機関が発信する研修などに参加し、スキルと能力の向上を図ります。

03

地域のなんでも相談所としての役割を担い続けます。

- 「みんなの食堂」を継続して開催していきます。
- 孤立する人をつくらない、不安な人を放置しないことを掲げ、個別のケースにきめ細やかに相談のり、利用者の状況に応じて支援していきます。
- 活動報告会の開催やボランティア説明会に参加し、活動を継続するために必要なボランティアスタッフの育成と定着を図ります。
- 自治体や関係機関とのケースの共有や通告、相談など、支援方針について連携を密にし、地域で見守れる体制をつくります。
- 「福祉楽団 地域ケアよしかわ」の存在を知って活用してもらえるよう、地域の民生委員や自治会、学校、団地管理サービスなどに案内を置き、必要な人に情報が届きやすいようにします。また、LINE相談など、気軽に相談できる体制を整えます。

栗源事業部

事業部長 山根 正敬



01

作業の構造化を進め、福祉サービスの向上や働きやすい職場づくりを目指します。

- 各部署で2か月に1度、マニュアルの作成や更新を行います。それらが法人や地域のモデルになることを目指します。
- OFF-JTの内容や方法を見直し、衛生管理に関する意識の向上とともに、職員のモチベーションアップやスキルアップにつなげていきます。
- 日常的な健康管理など生活の質を意識した個別支援計画を作成し、実践につなげていきます。

02

商品の安全と職員の安全を第一に考えていきます。

- 商品の製造過程において、HACCPの考え方が日常業務で実践されるような仕組みを整えます。その結果として、安心で安全な商品提供を目指します。
- 安全のために必要なシステムや道具を積極的に導入し、労災ゼロを目指すとともに、ケガがあったときに迅速な対応ができるようにします。
- 日常的な指導や声掛け、安全講習などを通して、ひとりひとりの安全意識を高めていきます。

03

収益力の向上を計ります。

- 豚肉や加工品の販路を拡大し、より多くの人の食卓に「恋する豚」をお届けできるようにします。また、「恋する豚」以外の地域の商材についても販路を広げ、地域の魅力発信につなげていきます。
- 施設に來られたお客様の満足度を高めるために、できることを考え、実行していきます。
- 農林産物や家具など1Kブランドの構築を図るとともに、おいしいサツマイモや洗練された家具づくりを探求していきます。
- 利用者本人の特性や希望に合った働き方ができるようにし、年度末に就労継続支援A型、B型を合わせて60名が利用できるようにします。また、事業部内だけでなく、地域で働ける人材を育成していきます。

コーポレート統括部

コーポレート統括部長 岩田 直樹



01

職員ひとりひとりが持てる力を発揮できる組織づくりを推進します。

- 法人全体のケア実践基盤を強化するため、ケアチームに看護師1名を採用します。
- 各拠点のキャリア採用に人事部も連携し、戦略的にキャリア採用を実施していきます。
- 外国人職員等のスキル向上を図るため、やさしい日本語で「虐待防止」「感染症」「ユマニチュード」「介護展開過程」の研修を各2回企画・実施します。また、研修を継続して行えるように、体系化していきます。
- 千葉県香取市に職員住宅の整備をすすめます。

02

持続可能な経営管理体制をつくります。

- 2022年9月からクラウド型の人事情報管理システムに移行し、給与明細や申請書類の電子化、労務・勤怠管理の効率化を図ります。
- 2022年9月に「杜の家くもと」の外壁塗装、防水工事などの大規模修繕を実施します。
- 2024年度の事業継続計画策定の義務化に向け、2022年7月から検討委員会を設置し、年度内に草案を完成させます。
- 算定できる加算や稼働率、コスト比率等をモニタリングし、各事業部へフィードバックして継続的な経営の安定化を図ります。また、2023年3月末までにキャッシュポジションを2.6億円まで引き上げます。

03

心理的安全性を高め、業務改善が促進されるバックオフィス組織を目指します。

- セクションマネージャーを中心にメンバー同士が積極的にコミュニケーションを図れるようにしていきます。
- 業務分掌を整理し、業務の属人化を改善します。
- 常態化している業務から脱却し、小さな改善から実行していきます。3か月毎にひとり1つ共有していきます。

香取CCC事業部

事業部長 高木 亜希子



01

相談者の最善を考え行動します。

- ケースの全体像を俯瞰できるよう、アセスメントを標準化します。相談受付票を再考し、目の前の事象に捉われて支援に偏りが生じないようにします。
- 月1回以上の継続支援が必要な相談者は、職員1人1ケースの個別支援計画のもと、週1回のミーティングで方針検討を行います。
- 5段階の支援レベルをもとにkintoneを用いて介入状況を定量的に把握し、相談者への支援を滞らせないようにします。相談の多くを占める電話についてはブラウザ電話を導入し、職員相互の相談援助技術の点検やフィードバックに活用します。

02

断らない相談支援を行います。

- 隔月の事例検討会「昼café」や年1回以上の「香取CCC連絡調整会議」を行政や関係機関に向けて開催し、「重層的支援体制」の基盤を地域の関係者と共に構築します。
- 無料学習支援「寺子屋」を週1回開催します。子どもや若者、それを取り巻く人々を孤立させない地域の居場所づくりに取り組みます。
- 月2社以上の企業へ事業説明に訪問します。地域で孤立し困難を抱えている人や刑余者などの就労に理解をいただけるようにはたらきかけます。
- 住まいの選択肢が広がるように地域との関係者と協議を重ねます。

03

チームの目的を理解し、主体性を持ちながら協働できる職員を育成します。

- 定刻の朝夕礼の実施およびSlackの活用により、日々の報告や連絡、相談を確実にいきます。職員がケースを単独で抱え込まないよう、チームで支援を進行していきます。
- 自らが地域等に向けてチームの目的を語る機会を年1回以上もち、チームの目的や社会的使命を理解します。
- 法人他拠点と事例検討の場を設け、相互研鑽の機会を得たり、法人外部の視察等を通して職員が視座を広げる機会を月1回以上設けます。自拠点内で閉塞しないよう、外部の示唆を得ていきます。

2022年度予算（資金収支計算書）

(自) 2022年4月1日 (至) 2023年3月31日

(単位: 円)

		勘定科目	予算額	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	1,912,365,803	
		就労支援事業収入	620,902,607	
		障害福祉サービス等事業収入	142,988,073	
		公益事業収入	43,241,106	
		借入金利息補助金収入	66,365	
	支出	経常経費寄附金収入	3,887,082	
		受取利息配当金収入	12,126	
		その他の収入	61,959,810	
		事業活動収入計 (1)	2,785,422,972	
		人件費支出	1,417,763,942	
支出	事業費支出	268,234,995		
	事務費支出	191,252,289		
	就労支援事業支出	586,286,129		
	支払利息支出	19,153,643		
	その他の支出	7,143,751		
	事業活動支出計 (2)	2,489,834,749		
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	295,588,223		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	56,400,000	
		設備資金借入金収入	243,000,000	
		施設整備等収入計 (4)	299,400,000	
		設備資金借入金元金償還支出	183,689,000	
		固定資産取得支出	311,450,000	
	支出	ファイナンス・リース債務の返済支出	7,021,894	
		施設整備等支出計 (5)	502,160,894	
		施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	▲ 202,760,894	
		収入	その他の活動収入計 (7)	0
		支出	長期運営資金借入金元金償還支出	49,008,000
長期貸付金支出	2,800,000			
その他の活動支出計 (8)	51,808,000			
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	▲ 51,808,000		
	予備費支出 (10)	—		
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	41,019,329		
	前期末支払資金残高 (12)	458,397,653		
	当期末支払資金残高 (11) + (12)	499,416,982		

福祉楽団について

ABOUT FUKUSHI GAKUDAN

施設概要 FACILITY INFORMATION

杜の家くりもと



所在地：〒287-0102
千葉県香取市岩部869番60
TEL：0478-70-5665
FAX：0478-70-5666
実施事業：特別養護老人ホーム／ショートステイ／認知症グループホーム／デイサービス／訪問介護／居宅介護／居宅介護支援・相談支援／企業主導型保育事業／配食サービス／福祉有償運送／学習支援事業
開設日：2003年3月1日

杜の家やしお



所在地：〒340-0802
埼玉県八潮市鶴ヶ曾根567番1
TEL：048-999-7667
FAX：048-999-7668
実施事業：特別養護老人ホーム／ショートステイ／訪問介護／居宅介護／居宅介護支援・相談支援／企業主導型保育事業／配食サービス／学習支援事業
開設日：2008年4月1日

杜の家なりた



所在地：〒286-0005
千葉県成田市下方686番1
TEL：0476-20-7575
FAX：0476-20-7878
実施事業：特別養護老人ホーム／共生型ショートステイ／デイサービス／居宅介護支援・相談支援／放課後等デイサービス／就労継続支援B型／企業主導型保育事業
開設日：2016年6月1日

福祉楽団 地域ケアよしかわ



所在地：〒342-0054
埼玉県吉川市吉川団地1街区7号棟107
TEL：048-984-2332
FAX：048-984-2333
実施事業：訪問介護／居宅介護／居宅介護支援・相談支援／みんなの食堂
開設日：2014年4月1日

香取CCC



所在地：〒287-0002
千葉県香取市北3丁目2番地13
TEL：0478-50-1919
FAX：0478-50-1414
実施事業：千葉県中核地域生活支援センター事業／千葉県生活困窮者自立相談支援事業／千葉県就労準備支援事業／千葉県家計改善支援事業／学習支援事業
開設日：2017年4月1日

栗源協働支援センター



所在地：〒287-0105
千葉県香取市沢2459番1
TEL：0478-70-5234
FAX：0478-70-5235
実施事業：就労継続支援A型／相談支援／生活困窮者認定就労訓練
開設日：2012年9月1日

栗源第一薪炭供給所



所在地：〒287-0105
千葉県香取市沢2452番1
TEL：0478-70-5234
FAX：0478-70-5235
実施事業：就労継続支援B型
開設日：2018年3月1日

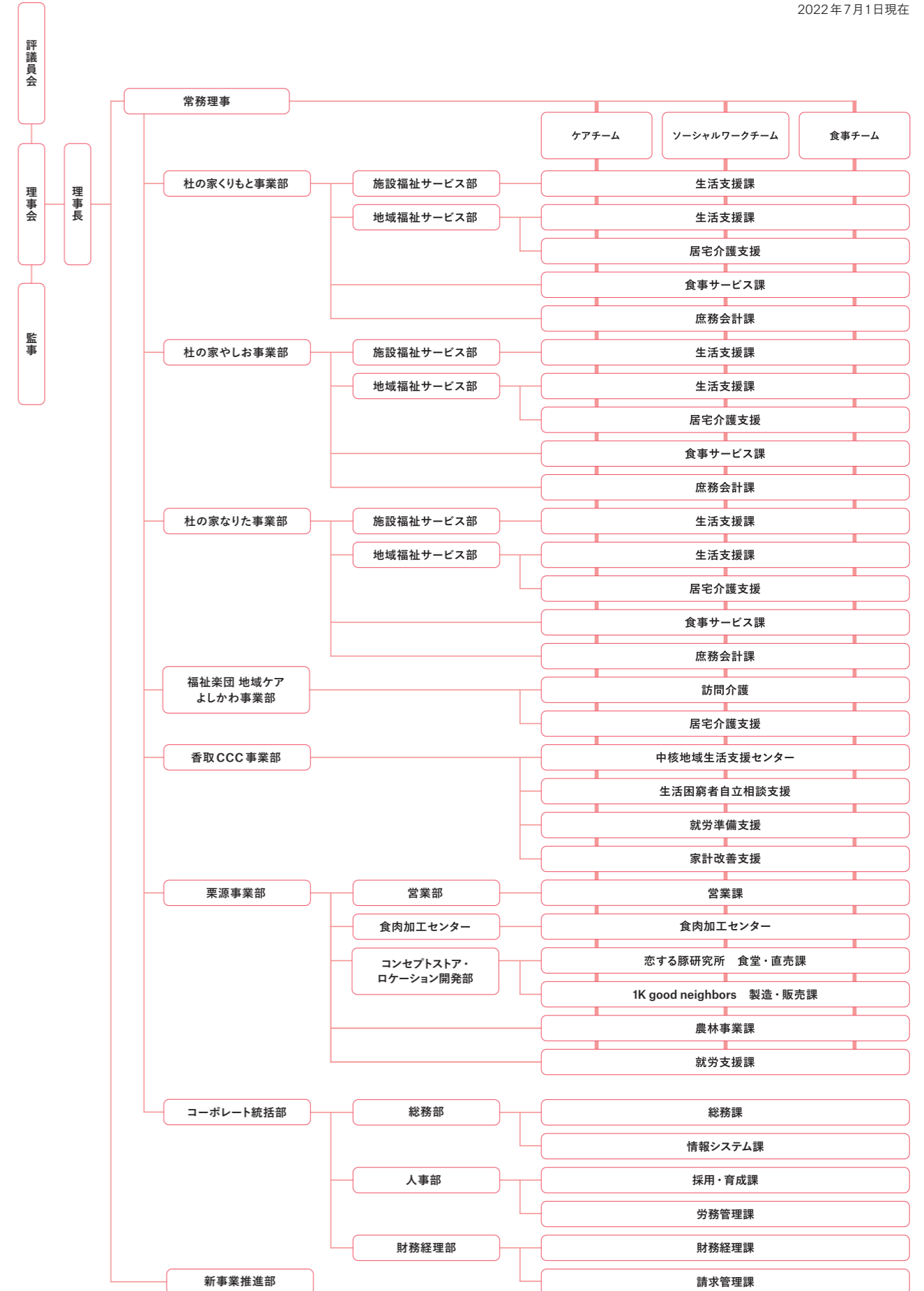
コーポレート統括部



所在地：〒261-7112
千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1
WBGマリブイースト12階
TEL：043-307-2828
FAX：043-307-4848

組織図 ORGANIZATION

2022年7月1日現在



2001.12

▶ 12月7日、「社会福祉法人豊和会」として設立（千葉県認可）。職員数34名。写真は「杜の家くりもと」の竣工式（2003年2月）で設計者を表彰する在田正則理事長と、在田恵美子施設長（いずれも当時）



2003.3

▶ 法人最初の施設「杜の家」（千葉県香取市）開設（現「杜の家くりもと」）。特別養護老人ホームの事業からスタート



2005.7

▶ 法人名称を「社会福祉法人福祉楽団」に変更

2008.4

▶ 「杜の家やしお」（埼玉県八潮市）開設



▶ 法人最初の職員住宅「オープンセサミ」（埼玉県八潮市）設置



2009.8

▶ お食事配達サービス「杜ごはん」（千葉県香取市）を開始。翌年4月、お出かけ支援サービス「杜バス」（千葉県香取市）を開始

2012.9

▶ 就労継続支援A型事業所「栗源協働支援センター」（千葉県香取市）開設。同月、建物内に「恋する豚研究所」のフラッグシップストア「食堂・お店」を出店



2012.10

▶ 法人最初の訪問介護ステーション「杜の家やしお」（埼玉県八潮市）開設

2013.7

▶ 「杜の家やしお」で無料学習支援サービス提供開始

2014.4

▶ 「福祉楽団 地域ケアよしかわ」（埼玉県吉川市）開設



2014.11

▶ 「福祉楽団 地域ケアよしかわ」で「みんなの食堂」を開始

2015.11

▶ ケア記録ソフト「ケアコロボ」を全事業所で導入



2016.4

▶ 職員住宅「ピーカパー」（千葉県成田市）設置

2016.6

▶ 「杜の家なりた」（千葉県成田市）開設



2017.3

▶ 「社会福祉法人愛川舜寿会」「社会福祉法人ゆうゆう」と3社福アライアンスを締結

▶ 「ツルガソネ保育所」（埼玉県八潮市）を開設

2017.4

▶ 職員住宅「栗源ハウス」（千葉県香取市）設置

▶ 「香取CCC」（千葉県香取市）を開設



▶ 在田正則が理事長を退任し、飯田大輔が理事長に就任

2018.3

▶ 「栗源第一薪炭供給所」（千葉県香取市）開設



2018.4

▶ 「栗源第一薪炭供給所」敷地内にスイートポテト専門店「1K sweet potato」（現「1K good neighbors POTATO & CAFE」）を併設

2018.11

▶ 法人本部事務所を千葉県千葉市美浜区に移転



2019.9-10

▶ 台風15号、19号により各施設で被災（法人全体の施設・設備の被災総額1億1,614万円）。「杜の家くりもと」は地域の福祉避難所にもなった



2020.2

▶ 「イワベの保育所」（千葉県香取市）を開設。法人として3事業所目の保育所



2020.4

▶ 「栗源第一薪炭供給所」敷地内に「1K good neighbors JAM & PASTE」のジャム小屋を設置

法人名称	社会福祉法人 福祉楽団（2001年12月7日登記）
主たる事務所	〒261-7112 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1 電話：043-307-2828 ファクシミリ：043-307-4848
理事長	飯田 大輔
理事	安部 明子（東京都足立区） 杜の家なりた 事業部長 飯田 大輔（千葉県千葉市） 理事長 石間 太郎（東京都墨田区） 杜の家やしお 事業部長 岩田 直樹（千葉県船橋市） 常務理事（コーポレート統括部長） 大枝 真弓（千葉県千葉市） 常務理事 多田 里奈（千葉県成田市） 杜の家くりもと 統括ユニットリーダー 馬場 拓也（神奈川県愛川町） 社会福祉法人愛川舜寿会 常務理事
監事	大原 裕介（北海道当別町） 社会福祉法人ゆうゆう 理事長 星川 望（東京都練馬区） 税理士
評議員	在田 健一（千葉県旭市） 有限会社アリタホクサイエンス 代表取締役 伊藤 佳世子（千葉県千葉市） 社会福祉法人りべるたす 理事長 井上 徹（千葉県香取市） 香取市議会議員 小林 有香里（千葉県千葉市） 千葉市ひまわり会（里親会）会長 こまちだ たまお（千葉県長生郡） 芸術家 篠塚 佳典（千葉県香取市） 株式会社芝山農園 代表取締役 竹嶋 信洋（千葉県千葉市） 株式会社ベストサポート 代表取締役 竹蓋 伸六（千葉県香取市） 千葉県自閉症協会 副会長 筒井 啓介（千葉県木更津市） NPO法人コミュニティワークス 理事長 平野 昇（千葉県旭市） 平野自動車 代表 妻鹿 ふみ子（東京都世田谷区） 東海大学 教授
評議員選任・解任委員	伊藤 新一郎（北海道札幌市） 北星学園大学 教授 鶯 領太郎（静岡県藤枝市） 静岡福祉大学 助教 林 健太郎（東京都稲城市） 慶應義塾大学 専任講師
法律顧問	大槻 厚志（千葉県弁護士会・県民合同法律会計事務所）
事業の種類	1. 第一種社会福祉事業 （1）特別養護老人ホームの経営 2. 第二種社会福祉事業 （1）老人デイサービス事業の経営 （2）老人短期入所事業の経営 （3）認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 （4）老人居宅介護等事業の経営 （5）障害福祉サービス事業の経営 （6）一般相談支援事業の経営 （7）特定相談支援事業の経営 （8）障害児通所支援事業の経営 （9）障害児相談支援事業の経営 （10）社会福祉事業に関する連絡又は助成を行う事業の経営 3. 公益を目的とする事業 （1）居宅介護支援事業 （2）配食サービス事業 （3）自家用車有償旅客運送事業 （4）社会福祉を目的とする事業の経営に関する指導及び助言を行う事業 （5）無料又は低額な料金で子どもの学習を支援する事業 （6）企業主導型保育事業 （7）社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業 4. 収益事業 （1）不動産賃貸業
所轄庁	千葉県

福祉楽団 スキマ 基金

制度の「スキマ」をフォローする
福祉実践を育てる基金です。
ご支援をよろしくお願いいたします。

2021年5月より
税額控除対象法人 となりました。
当法人への寄付については、税額控除を受け
ることができます。

1口
年 **3千円**
ご寄付

▶ 福祉楽団サポーターズになる

福祉楽団の“現場”を支えるさまざまなプログラムに活用させていただきます。
福祉実践を育てていくメンバーシップ制度です。サポーターの方には、年4回発行の広報誌「GAKUNAVI」や、年1回発行の年次報告書をお届けします。

これまで
14,667,684円を
活用させていただきました

介護職員が

無料で抗原検査を受けられるようにキットを調達

家族や同居者に陽性者が発生した場合や「濃厚接触者」となった場合のほか、体調不良などがあつたときにも、介護職員がCOVID-19の抗原検査を速やかに受けられるように、抗原検査キットを調達し、気軽に検査できる体制を整えました。



介護技術の訓練のための

人体モデルを導入

誤嚥したときの「ハイムリック法」の訓練が行えるように人体モデルを導入しました。また、排泄介助の研修がよりリアリティを持って行えるように装着して体験できる陰部のモデルなどを整備しています。職員の研修で、実践的な学びができるようにし、ケアの質の向上につなげていきます。



職員を感染から守るための

個人防護具の備蓄



陽性者の自宅への訪問介護や、施設内で感染症が発生したときに、職員を感染から守るのは防護服やゴーグルなどの「個人防護具」です。集団感染が発生した場合などに備え、備蓄を増やしています。

介護職員の負担を軽減するための

介護機器の導入

介護職員の身体的な負担を軽減するために、入浴時の介助を補助するリフトキャリアを導入しました。そのほか、座面が昇降したり背面がリクライニングする車いすも導入しています。



▶ プロジェクトをサポートする

1 ごはんプロジェクト



例
5千円
ご寄付

**みんなの食堂で
30人分のごはんを
用意することができます**

ひとりでご飯を食べている子どもや、お年寄り、引きこもりがちな若者などと、みんなでご飯をたべる活動を行っています。また、生活困窮家庭などに食料品を届ける活動も行っています。

これまで **2,456,103円** を
活用させていただきました

2 森ではたらくプロジェクト



例
1万円
ご寄付

**障害者が使う
安全防護具を3人分
用意することができます**

障害のある人や、さまざまな理由で働きづらさを抱えた人と一緒に森林の保全活動を行っています。地域の風景を整え、森林で汗をかいて働くことで心身の健康も整います。

これまで **86,500円** を
活用させていただきました

3 少年院から地域にかえるプロジェクト



例
1万円
ご寄付

**出院してすぐに必要な
下着や着替えなどを1人分
用意することができます**

少年院を出たあとに親元などの帰る場所のない子どもが多くいます。立ち直りを支援し、再犯しないようにしていくためには、住まいと仕事の支援が欠かせません。

これまで **637,083円** を
活用させていただきました

▶ 2024年に創設する 児童養護施設の創設をサポートする

積立額 **1,062,162円**

1口
年 **3万円**
ご寄付

福祉楽団では、2024年に「児童養護施設」や子どもの「一時保護」施設を開設するための準備をすすめています。家庭的な雰囲気の施設をつくりたいと考えています。また、児童養護施設を出たあとも、いつでも帰ってこられるような仕組みや相談を受けられる仕組みをつくれます。公的な制度だけでは十分ではなく、皆様からの支援が必要になります。

全額損金算入が可能な寄付制度があります！

法人で、児童養護施設の創設のために100万円以上の寄付をご検討の場合は、**全額損金算入**が可能な「受配者指定寄付金制度」がご利用いただけます。共同募金会での手続きと審査が必要になりますので、福祉楽団の担当者までご相談ください。

♥ 2021年度「スキマ基金」にご支援ありがとうございました

株式会社ベストサポート/株式会社富野工務店/株式会社すずとみフーズ/山口農場/吉川中央ロータリークラブ/医療法人社団うちやまクリニック/株式会社ウーレン/富士水質管理株式会社/石井工業株式会社/株式会社テクノプランニング/四街道市みんな地域づくりセンター/Prostyle株式会社/株式会社ウイズアイ/医療法人デルソル 美なみ形成皮膚科/医療法人ひかり眼科/医療法人社団土屋医院/医療法人社団磯久クリニック/医療法人社団斗和会 美南こころの森クリニック/医療法人社団昭栄会/医療法人社団桜和会 さくら医院/みわのえ整形外科/医療法人社団紺正会 三宅クリニック/医療法人社団メディカルコミュニティ/吉川内科医院/医療法人社団心明会 中村病院/医療法人社団瑞穂会 瑞穂クリニック/むさし野ファミリークリニック/ネオポリスハヤシ医院/NPO法人つながるネットワーク八潮/一般社団法人吉川松伏医師会/多田晴雄/会田幸子/金井一薫/相良文雄/川崎ひろ子/星川望/加島トシ江/薄田信子/大枝安泰/平野まき子/篠崎まつ枝/長手雅子/山田芳江/吉羽房子/小林喜子/岩野道生/堀田聡子/岩田俊夫/岩澤由美子/宇井正一/星野真吾/馬上文司/光城元博/竹藪伸六/片野和弘/堂本晴子/瀧澤文雄/渡邊圭子/井田武寛/向後保雄/橋本菜穂子/越川和子/鶴領太郎/井上裕史/飯嶋利夫/石橋博之/林賢一/木内尚子/平磯詩恵/越前由衣/岡部拓哉/信太之典/今井靖子/妻鹿ふみ子/秋本可愛/服部和野/塚田美穂/奥住テイ子/鈴木信雄/曾田進/近藤一人/網島ひろみ/高橋久美/大野卓哉/甘楽真紀子/今井隆夫/塚田慶博/内山雅之/石井秀則/島村たか子/石原鈴子/本田貴男/勝又恵里子/石井佳代子/杉浦良弘/佐藤義勝/五十嵐幸子/田中耕太/井熊節子/秋本憲一/津島豊美/田島康弘/林修平/濱名英倫/佐伯清毅/高橋マナミ/後藤佐智子/大矢恵子/石井茂美/黒澤てい子/下河原忠道/篠塚佳典/齋藤薫/窪木愛子/原元利成/山本六子/戸村高三/貴田美津子/佐野藤代(順不同、敬称略。お名前非公表71名)



はっとり かずの
服部 和野 さま
「杜の家やしお」入居者ご家族

「杜の家やしお」に入居し、特別養護老人ホームに対するイメージがガラッと変わりました。その前の施設にいたときよりも夫の表情も良くなっているし、ケアコラボで普段の様子が見られるので安心できます。寄附はわずかなことにもお役に立てられれば嬉しいです。今後もよろしく願いいたします。



しもがわら ただみち
下河原 忠道 さま
株式会社シルバーウッド 代表取締役

理事長の飯田さんが使うキーワードに「コンヴィヴィアリティ」なるものがあり、調べてみると「自立共生」という意味でした。人間の本来性を損なうことなく、他者や自然との関係性のなかでその自由を享受し、創造性を最大限発揮させていく社会。恋豚でも障害者雇用の形を示し、生理学研究でも介護という仕事の方向性を示してくれた。なんというか、素直に尊敬しています。いいところはどんどん真似したいし、一生懸命模倣して、いつか自分のものになりたいと思っています。



ひらい まこと
平井 真実 さま
吉川松伏医師会 会長

2017年12月より「福祉楽団 地域ケアよしかわ」の「みんなの食堂」に賛同し、家庭の事情などで温かい夕食に困っている子どものために、各医院から16名の医師の協力を得て食材の支援をおこなっています。吉川市は農家が多いため米や野菜の一部は足りていますが、たんぱく質などが不足しますので肉や魚を提供しています。今後も「みんなの食堂」の発展のため、地域のボランティアさんのご協力とご支援をお願い申し上げます。

▶ スキマ基金 | ご寄付の方法



クレジットカードで

福祉楽団「スキマ基金」専用のWebサイトから、クレジットカードですぐに手続きできます。

<https://bit.ly/2YMMGDk> ▶



郵便局で

この冊子に同封の払込取扱票をお使いください。別途、払込取扱票をご希望される場合は、福祉楽団 財務経理課へご連絡ください。



銀行で

下記の口座でお受けしています。領収書をご希望される場合は、福祉楽団 財務経理課までメールでご連絡ください。

佐原信用金庫 本店
普通 0589540
社会福祉法人福祉楽団
フク)フクシガクダン



遺産・不動産

土地や物品によるご支援をいただける場合は、福祉楽団 財務経理課までお気軽にご相談ください。

▶ 法人で100万円以上の寄付を検討の場合は全額損金算入が可能な寄付制度があります

全額損金算入が可能な寄付の流れ



寄附者



寄附の申込



共同募金会



寄附金の交付



福祉楽団

共同募金会の「受配者指定寄附金制度」(*)をご利用いただくことで全額損金算入が可能になります。ご利用には審査がありますので、ご検討いただける場合は、福祉楽団の担当者までお気軽にご相談ください。

※受配者指定寄附金制度
<https://www.akaihane.or.jp/find/tax/>



寄付の手続きや税制優遇制度についてはお気軽にご連絡ください。
社会福祉法人福祉楽団 財務経理課 篠塚(しのつか)・岡村(おかむら)

☎ 043-307-2828

✉ sukima@gakudan.org

▶ ご寄付いただいた方へ

● 恋する豚研究所のハムとベーコンとソーセージのセットを贈ります

10,000円以上ご寄付いただいた方に、返礼品として、恋する豚研究所のおいしいハムとベーコンとソーセージのセットを進呈します。



● 税制上の優遇措置があります

2021年5月より税額控除対象法人となりました。当法人への寄付については、税額控除または寄附金控除を受けることができます。

個人の場合

寄付金が2,000円を超える場合は、確定申告を行うことにより税制上の優遇措置を受けることができます。

法人の場合

一般の寄附金控除とは別枠で、法人税法上の損益算入ができます。